

令和元年度
UR金剛団地世帯アンケート調査結果
報告書

令和2年6月
(2020年6月)

富田林市

目 次

第1章 調査の概要

1. 調査目的.....	1
2. 調査内容.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 報告書の見方.....	1

第2章 調査の集計結果

2-1. ご家族とお住まい	3
2-2. 地域コミュニティ	23
2-3. 「増進型地域福祉」の地域づくり	55
2-4. 集計結果の分析	61
2-5. まとめ	63

資料編

1. 調査票.....	65
-------------	----

第1章 調査の概要

1. 調査目的

まちの活性化に向け、高齢者世代が安心して住めるまちづくり、子育て世代が住みたくなるまちづくり、組織づくりの輪が広がるまちづくりを実現していくことを目的にアンケート調査を実施する。

2. 調査内容

- (1) 調査対象：UR金剛団地の賃貸住宅に居住の世帯
- (2) 調査対象数：4,151世帯（令和元年（2019年）11月末日現在）
- (3) 実施期間：令和元年（2019年）12月10日～令和元年（2019年）12月24日
- (4) 調査方法：郵送による配布・回収
- (5) 調査項目：家族と住まい、地域コミュニティ、増進型地域福祉の地域づくり
- (6) 調査問数：21問
- (7) 抽出方法：悉皆調査（住民基本台帳データを使用）

3. 回収結果

(1) 調査票の回収結果

配布数	宛先到着数	有効回収数	有効回収率（%）
4,151	4,136	1,566	37.9

4. 報告書の見方

- ・図中の「合計」は無回答（回答なし）を含む。
- ・図及び表の“N”は各設問における母数を表している。クロス集計の場合は、クロス集計の基準となる回答項目の母数である。
- ・百分比（%）は、原則として小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示している。そのため、四捨五入の結果、個々の比率の合計が100%と一致しないことがある。

・世帯区分は、問1—2) 本人を含む家族全員の年齢階層別人数の回答結果より、世帯類型を以下の通り15区分した。世帯類型15区分を元に、世帯類型7区分、その他世帯類型を設定した。

但し、「子育て世帯」、「高齢者を含む世帯」は、「3人以上世帯で高齢者を含む・子育て世帯(高齢者1人以上)」(3サンプル)が重複している。

表 世帯類型15区分

番号	世帯区分
1	1人世帯(非高齢者、45歳以上0人)
2	1人世帯(非高齢者、45歳以上1人)
3	1人世帯(高齢者)
4	2人世帯で非高齢者・若者世帯(高齢者0人、11歳以下0人、45歳以上0人)
5	2人世帯で非高齢者・若者・子育て世帯(高齢者0人、11歳以下1人以上、45歳以上0人)
6	2人世帯で非高齢者・非若者世帯(高齢者0人、11歳以下0人、45歳以上1人以上)
7	2人世帯で非高齢者・非若者・子育て世帯(高齢者0人、11歳以下1人以上、45歳以上1人以上)
8	2人世帯で高齢者世帯(高齢者1人)
9	2人世帯で高齢者のみ世帯(高齢者2人)
10	3人以上世帯で若者世帯(高齢者0人、11歳以下0人、45歳以上0人)
11	3人以上世帯で若者・子育て世帯(高齢者0人、11歳以下1人以上、45歳以上0人)
12	3人以上世帯で非若者・非高齢者世帯(高齢者0人、11歳以下0人、45歳以上1人)
13	3人以上世帯で非若者・非高齢者・子育て世帯(高齢者0人、11歳以下1人以上、45歳以上1人)
14	3人以上世帯で高齢者を含む・非子育て世帯(高齢者1人以上、11歳以下0人)
15	3人以上世帯で高齢者を含む・子育て世帯(高齢者1人以上、11歳以下1人以上)

表 世帯類型7区分

番号	世帯区分	世帯類型15区分の番号との対応					
1	単身世帯(その他)	1	2				
2	単身世帯(高齢者)	3					
3	高齢者のみ世帯(2人)	9					
4	若者のみ・非子育て世帯世帯(44歳以下の、11歳以下子どもなし)	4	10				
5	若者のみ・子育て世帯(44歳以下のみ、11歳以下子ども有)	5	11				
6	その他・非子育て世帯(45歳以上あり、11歳以下子どもなし)	6	8	12	14		
7	その他・子育て世帯(45歳以上あり、11歳以下子ども有)	7	13	15			

表 世帯類型その他区分

番号	世帯区分	世帯類型15区分の番号との対応										
1	若者世帯	1	4	5	10	11						
2	非若者世帯	2	3	6	7	8	9	12	13	14	15	
1	子育て世帯	5	7	11	13	15						
2	非子育て世帯	1	2	3	4	6	8	9	10	12	14	
1	高齢者を含む世帯	3	8	9	14	15						
2	非高齢者を含む世帯	1	2	4	5	6	7	10	11	12	13	

表 その他区分

番号	問15 近所づきあいの有無	問15の回答番号との対応									
1	近所づきあいをする世帯	1	2								
2	近所づきあいはうすい世帯	3	4								
3	近所づきあいをしない世帯	5	7								

注：「6. その他」は対象から除外

<用語の定義>

- ・子育て世帯の子ども：11歳以下
- ・若者：44歳以下
- ・若者のみ世帯：家族が44歳以下のみの世帯
- ・子育て世帯：11歳以下の子どものある世帯
- ・高齢者：65歳以上

第2章 調査の集計結果

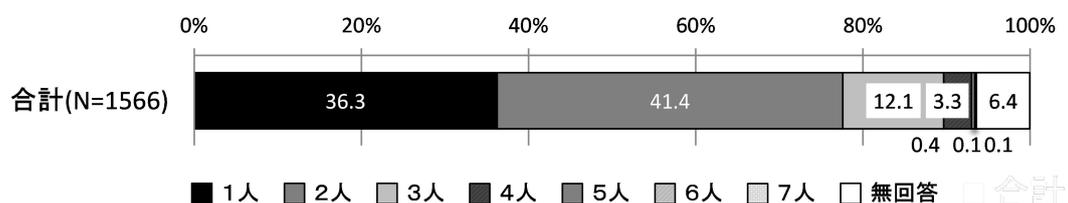
2-1. ご家族とお住まい

問1 家族の状況

(1) 家族の人数

「1人世帯」(36.3%)、「2人世帯」(41.4%)を合わせた小規模世帯が77.7%となっています。

問1 1)あなたを含め同居されているご家族全員の人数をご記入ください。



(2) 世帯類型

「単身世帯(高齢者)」(26.1%)、「高齢者2人のみ世帯」(26.1%)を合わせた『高齢者のみ世帯』が52.2%となっています。

他の世帯類型は、『高齢者を含む世帯』が67.4%、『若者世帯』が7.5%、『子育て世帯』が4.5%となっています。

問1 2)あなたを含め同居されているご家族全員の年齢別人数を()内にご記入ください。

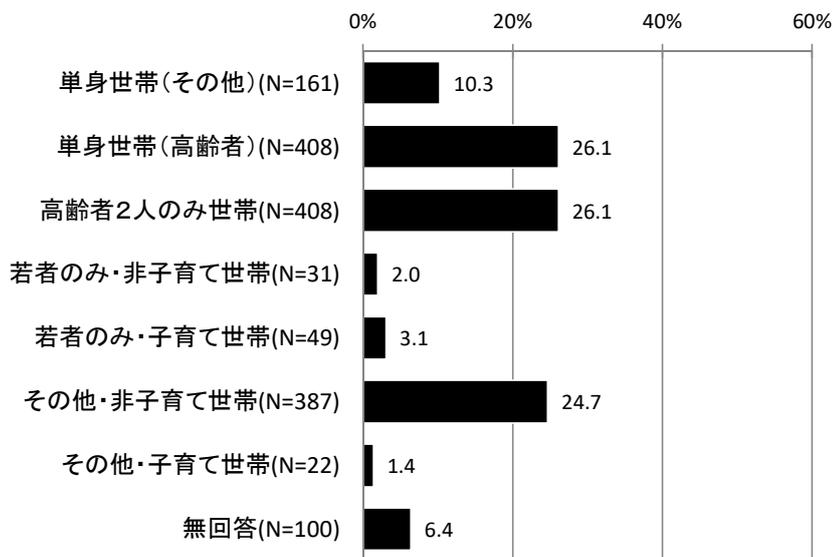


図 高齢者を含む世帯

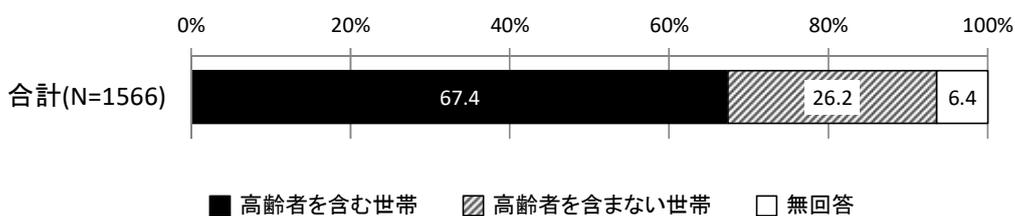


図 若者世帯

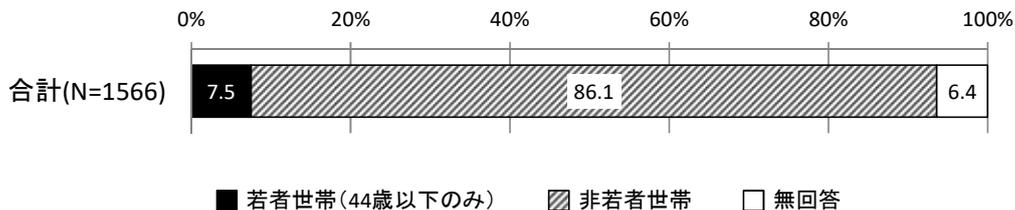
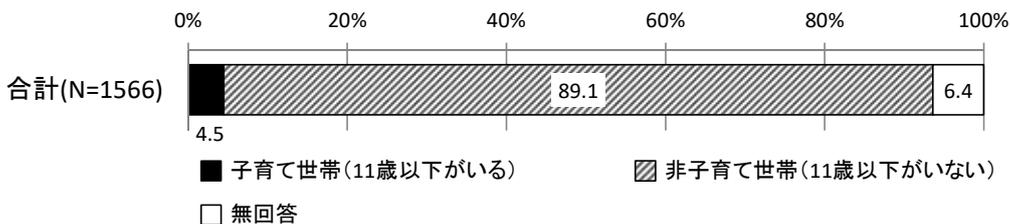


図 子育て世帯

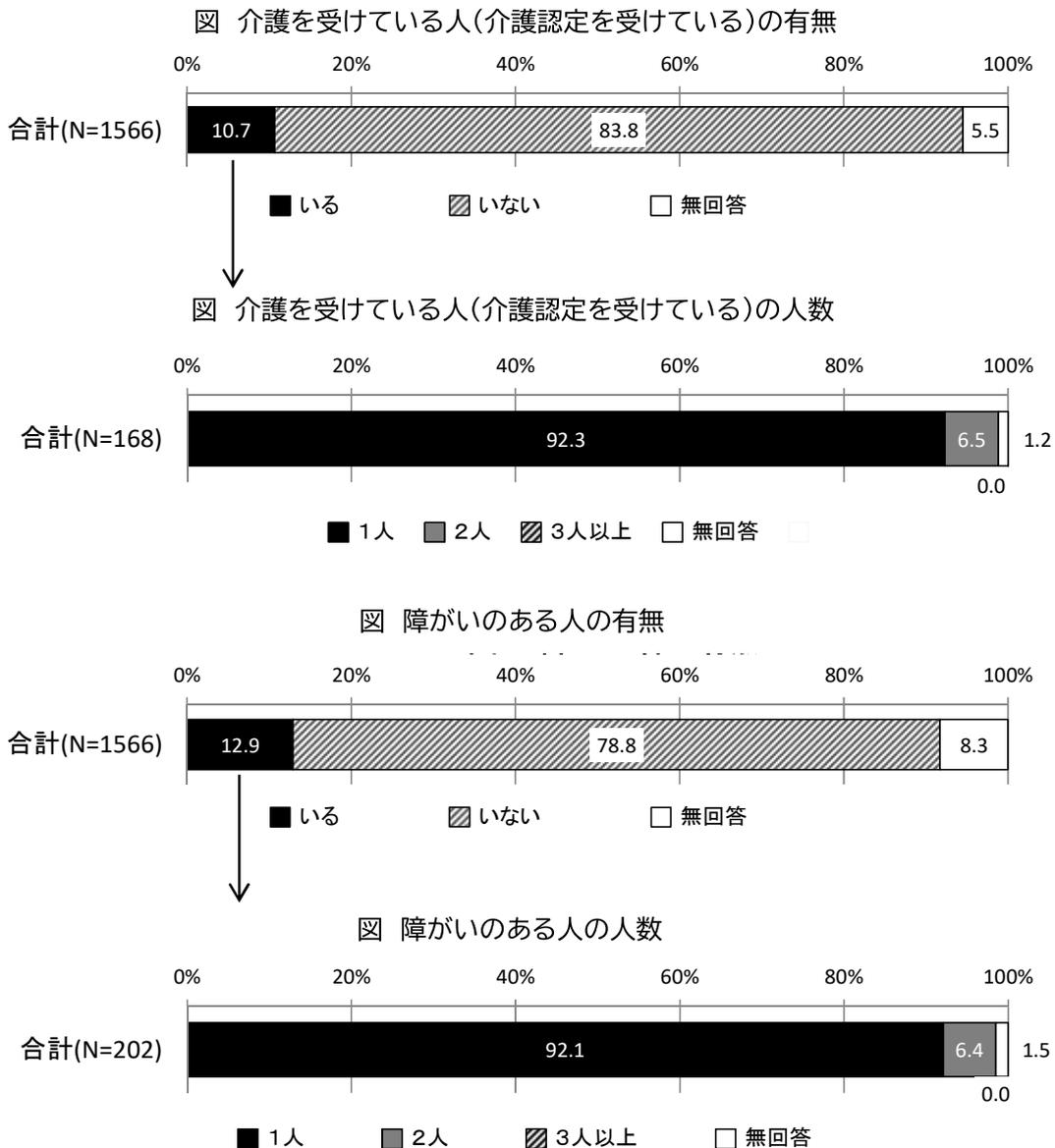


(3) 介護を受けている人(介護認定を受けている)、障がいのある人の有無

介護を受けている人(介護認定を受けている)が「いる」世帯は10.7%で、人数は「1人」が92.3%です。

障がいのある人が「いる」世帯は12.9%で、人数は「1人」が92.1%です。

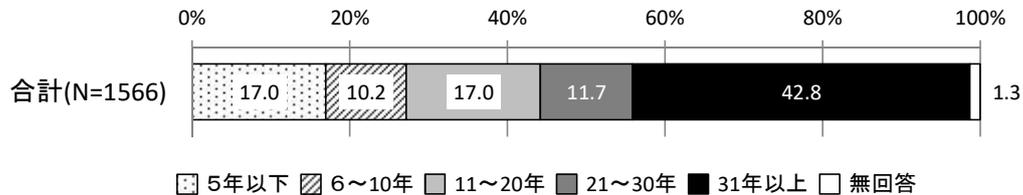
問1 3) あなたを含め同居されているご家族の中に、介護を受けている人(介護認定を受けている)や障がいのある人はおられますか。人数もご記入ください。



問2 UR金剛団地での居住歴

「21～30年」(11.7%)と「31年以上」(42.8%)を合わせた『21年以上』は、54.5%となっています。

問2 ご家族はUR金剛団地に住んで何年になりますか。(○は1つ)



問3 UR金剛団地の選択理由

【合計】

「家賃が手ごろだったから」(53.0%)、「交通の利便が良いから」(40.3%)、「周辺の自然環境が良かったから」(34.5%)、「周辺の住環境が良かったから」(27.4%)が主な項目となっています。

【小学校区】

「交通の利便が良いから」、「商業施設や医療施設などが近いから」の項目については、「久野喜台小学校区」(56.4%、22.4%)が他の校区より高くなっています。

【居住年数】

「家賃が手ごろだったから」の項目については、居住年数が短くなるにしたがって高くなる傾向がみられます。

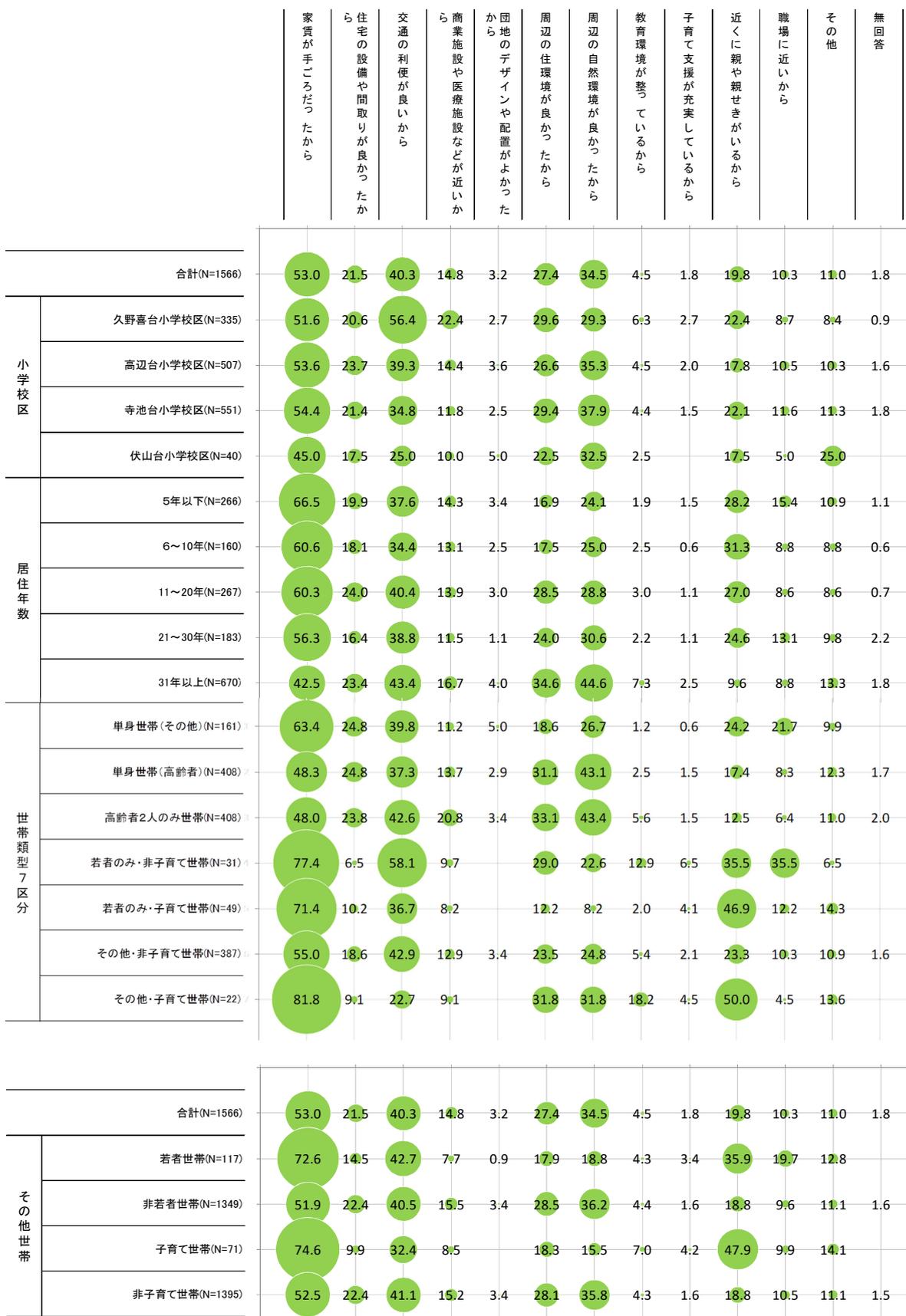
「周辺の自然環境が良かったから」の項目については、居住年数が長くなるにしたがって高くなる傾向がみられます。

【世帯類型】

「家賃が手ごろだったから」の項目については、「その他・子育て世帯」(81.8%)、「若者のみ・非子育て世帯」(77.4%)、「若者のみ・子育て世帯」(71.4%)、「単身世帯」(63.4%)が他の世帯より高くなっています。

「家賃が手ごろだったから」、「近くに親や親せきがいるから」の項目については、「子育て世帯」(74.6% 47.9%)が「非子育て世帯」より高くなっています。

問3 UR金剛団地を選ばれた理由は何ですか。(〇はいくつでも)



問4 居住地域に対する愛着

【合計】

「大変愛着を感じている」(41.0%)と「少し愛着を感じている」(45.0%)を合わせた『愛着を感じている』は86.0%となっています。

【小学校区】

大きな差がありません。

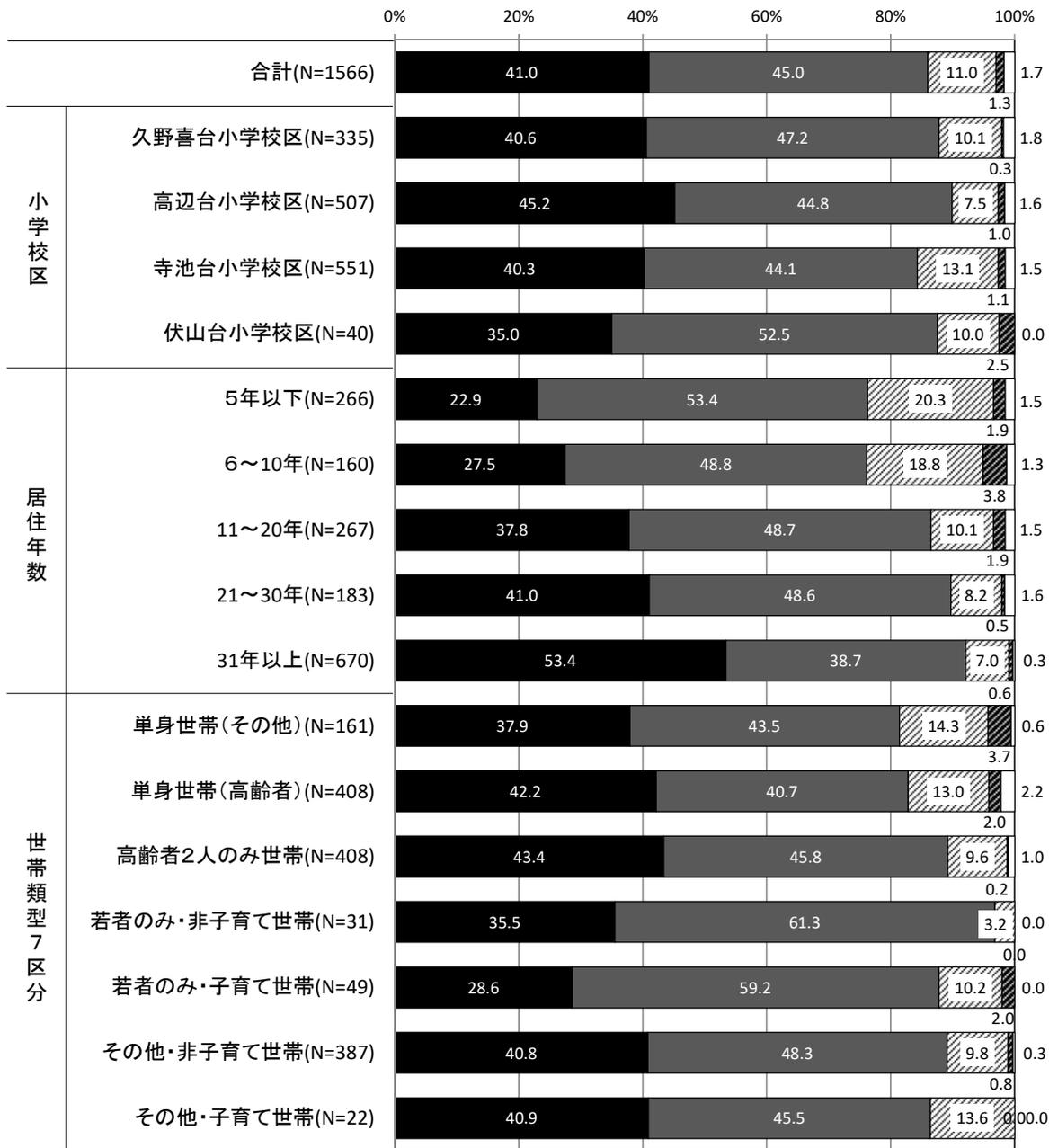
【居住年数】

「大変愛着を感じている」の項目については、居住年数が長くなるにしたがって高くなる傾向がみられます。「あまり愛着を感じていない」の項目については、『10年以下』は20%前後となっています。

【世帯類型】

「大変愛着を感じている」の項目については、「若者のみ・子育て世帯」(28.6%)、「若者のみ・非子育て世帯」(35.5%)が他の世帯より低くなっています。

問4 あなたやご家族は、お住いの地域に対して、愛着を感じていますか。(〇は1つ)



大愛着を感じている
 少し愛着を感じている
 あまり愛着を感じていない
 まったく愛着を感じていない
 無回答

問5 UR金剛団地の周辺地域への現在の満足度と今後の重要度

1) 現在の満足度

「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』では、「自然環境の豊かさ」(66.3%)、「交通の利便性」(54.5%)、「防犯(犯罪の少なさ)」(46.9%)、「買い物の便利さ」(45.0%)、「病院・診療所の利用しやすさ」(43.2%)、「道路の安全性・歩きやすさ」(40.7%)が主な項目となっています。

満足度の項目を点数化(※1)し加重平均すると、「普通3点」未満の項目は、「⑪ 集会所やサロン等、交流の場の利用しやすさ」(2.8点)、「⑬ 地域でのまとまりや住民活動」(2.8点)、「⑩ 障がい者(児)の入居・通所施設、介護・福祉サービス」(2.9点)となっています。

※1 <満足度の点数化>

満足=5 やや満足=4 普通=3 やや不満=2 不満=1 を配点し、各回答数で加重平均した。無回答を除く。

問5 UR金剛団地の周辺地域の生活環境はどう思われますか。「1)現在の満足度」と「2)今後の重要度」をおたずねします。(以下の①～⑭の項目で、あてはまる番号に○)

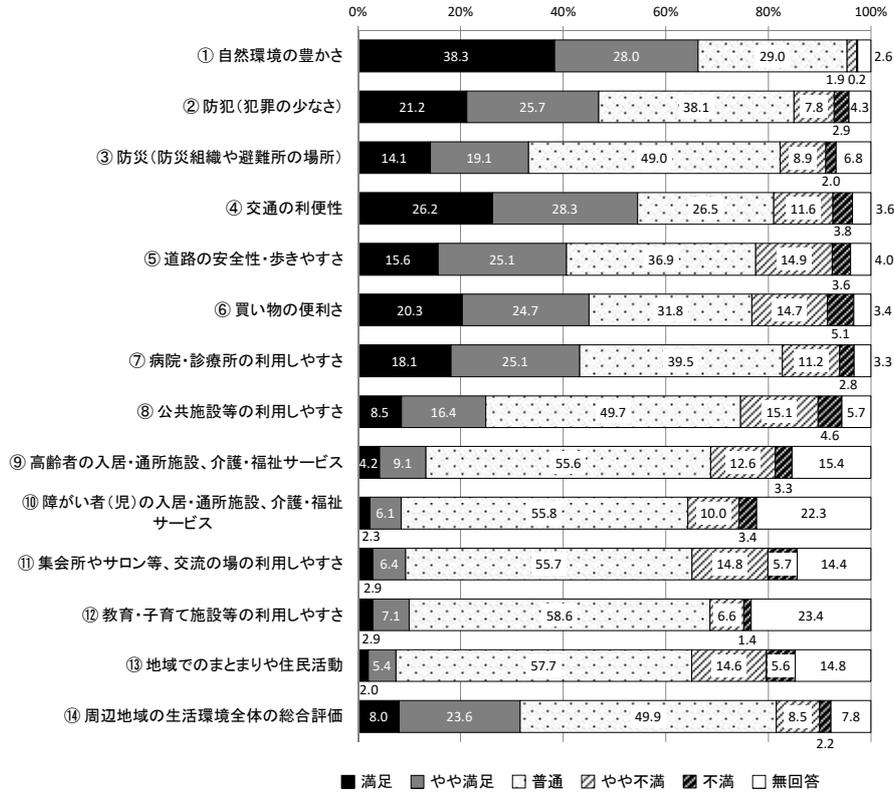
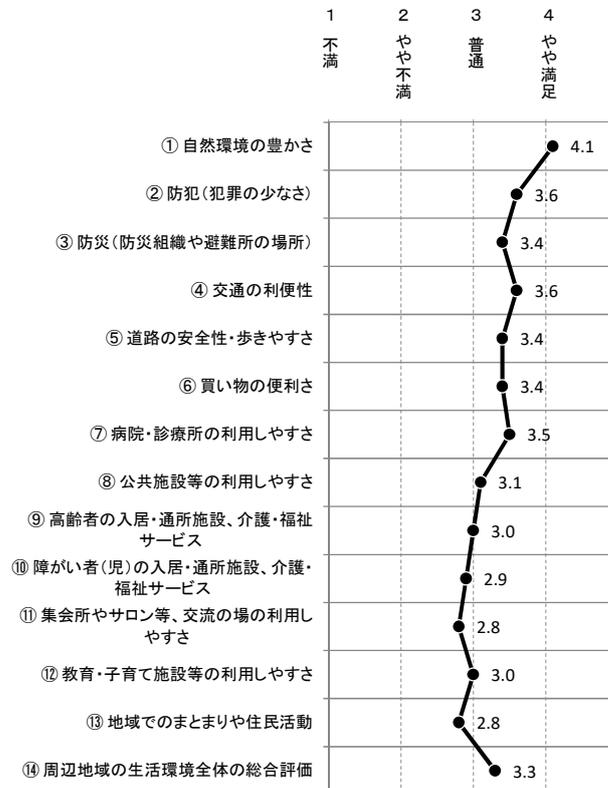


図 生活環境の現在の満足度の加重平均(無回答を除く)



2) 今後の重要度

「重要」と「やや重要」を合わせた『重要』では、「防犯（犯罪の少なさ）」（71.2%）、
「買い物の便利さ」（69.1%）、「病院・診療所の利用しやすさ」（68.7%）、「防災（防災組
織や避難所の場所）」（68.5%）、「交通の利便性」（67.3%）、「道路の安全性・歩きやすさ」
（67.1%）が主な項目となっています。

重要度の項目を点数化（※2）し加重平均すると、「やや重要4点」以上の項目は、「① 自
然環境の豊かさ」（4.1点）、「② 防犯（犯罪の少なさ）」（4.4点）、「③ 防災（防災組織や
避難所の場所）」（4.3点）、「④ 交通の利便性」（4.2点）、「⑤ 道路の安全性・歩きやすさ」
（4.3点）、「⑥ 買い物の便利さ」（4.3点）、「⑦ 病院・診療所の利用しやすさ」（4.3点）、
「⑧ 公共施設等の利用しやすさ」（4.0点）、「⑨ 高齢者の入居・通所施設、介護・福祉サ
ービス」（4.2点）、「⑩ 障がい者（児）の入居・通所施設、介護・福祉サービス」（4.1点）、
となっています。

※2 <重要度の点数化>

重要=5 やや重要=4 普通=3 あまり重要でない=2 重要でない=1 を配点し、
各回答数で加重平均した。無回答を除く。

図 生活環境の今後の重要度(N=1566)

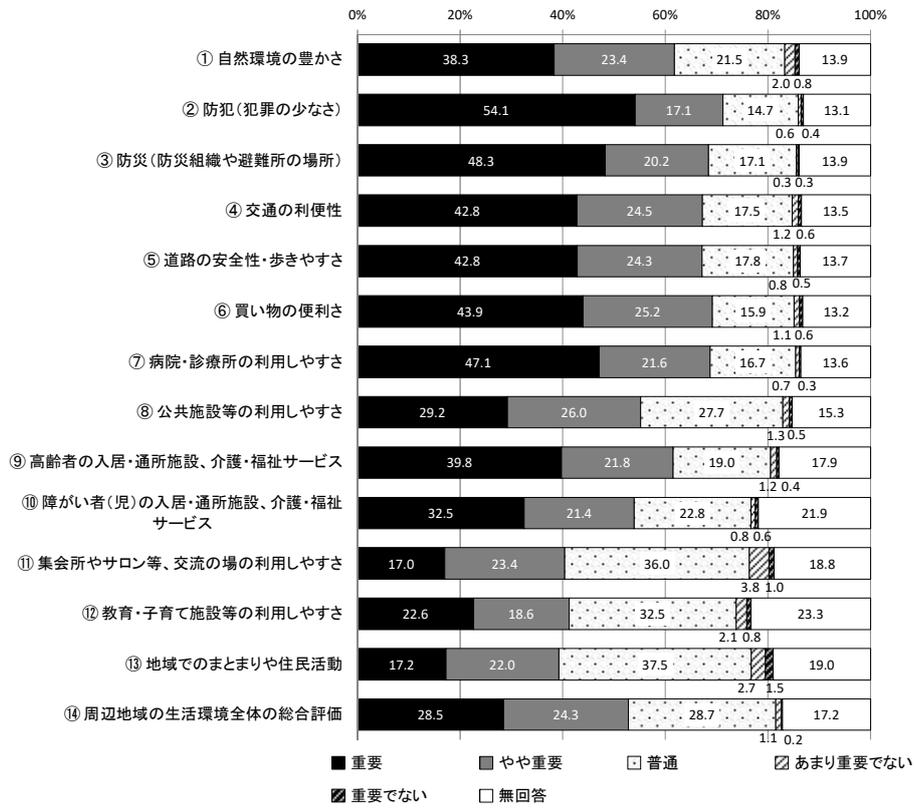
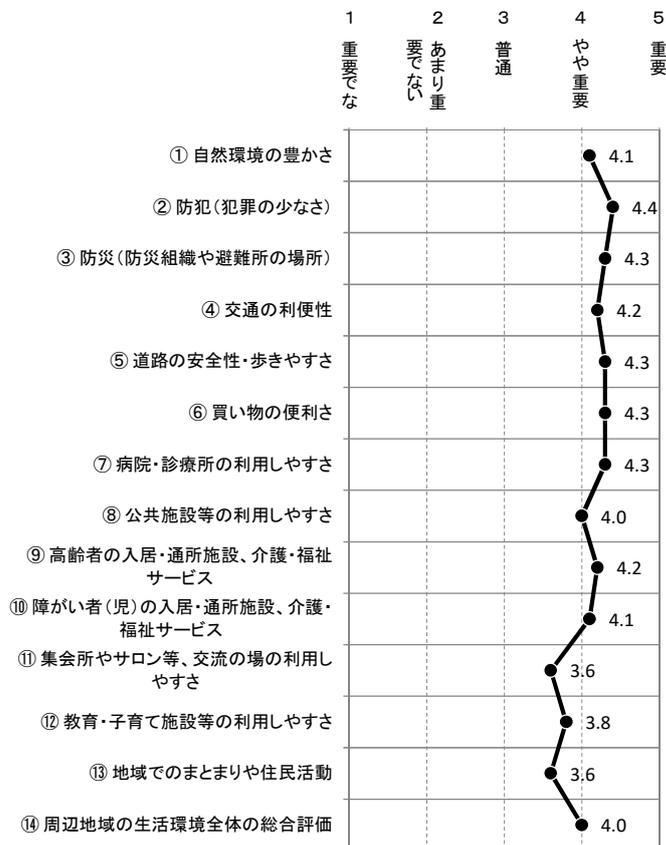


図 生活環境の今後の重要度の加重平均(無回答を除く)



問 6 UR金剛団地の周辺地域で不足する施設やサービス(複数回答 いくつでも)

【合計】

「飲食店」(47.6%)、「高齢者の入居・通所施設、医療・介護・福祉サービス」(44.6%)、「ショッピングセンター」(35.7%)、「コンビニエンスストア」(34.7%)、「高齢者等の憩いの場」(24.8%)、「医院や薬局など身近な医療施設」(23.1%)が主な項目となっています。

【小学校区】

「飲食店」、「ショッピングセンター」、「コンビニエンスストア」の項目については、「寺池台小学校区」(51.9% 42.5% 52.6%)が他の小学校区より高くなっています。

【居住年数】

「高齢者の入居・通所施設、医療・介護・福祉サービス」の項目については、「31年以上」(52.7%)、「11～31年以上」(50.2%)が他の居住年数より高くなっています。

【世帯類型】

「子どもの遊び場」の項目については、「若者のみ・子育て世帯」(53.1%)、「若者のみ・非子育て世帯」(41.9%)、「その他・子育て世帯」(36.4%)が他の世帯より高くなっています。

「高齢者の入居・通所施設、医療・介護・福祉サービス」の項目については、「高齢者2人のみ世帯」(55.6%)、「単身世帯(高齢者)」(49.5%)が他の世帯より高くなっています。

【その他の項目別集計結果】

(介護を受けている人(介護認定を受けている))

「いる」が「いない」より高い項目は、「高齢者の入居・通所施設、医療・介護・福祉サービス」(65.5%, 42.0% 23.5ポイント高)、「医院や薬局など身近な医療施設」(31.0%, 22.3% 8.7ポイント高)、「障がい者(児)の入居・通所施設、介護・福祉サービス」(20.8%, 10.8% 10.0ポイント高)となっています。

(障がいのある人)

「いる」が「いない」より高い項目は、「高齢者の入居・通所施設、医療・介護・福祉サービス」(54.0%, 41.8% 12.2ポイント高)、「障がい者(児)の入居・通所施設、介護・福祉サービス」(32.2%, 9.2% 23.0ポイント高)となっています。

(外出困難者)

「いる」が「いない」より高い項目は、「高齢者の入居・通所施設、医療・介護・福祉サービス」(55.2%, 43.1% 12.1ポイント高)、「医院や薬局など身近な医療施設」(31.4%, 22.7% 8.7ポイント高)となっています。

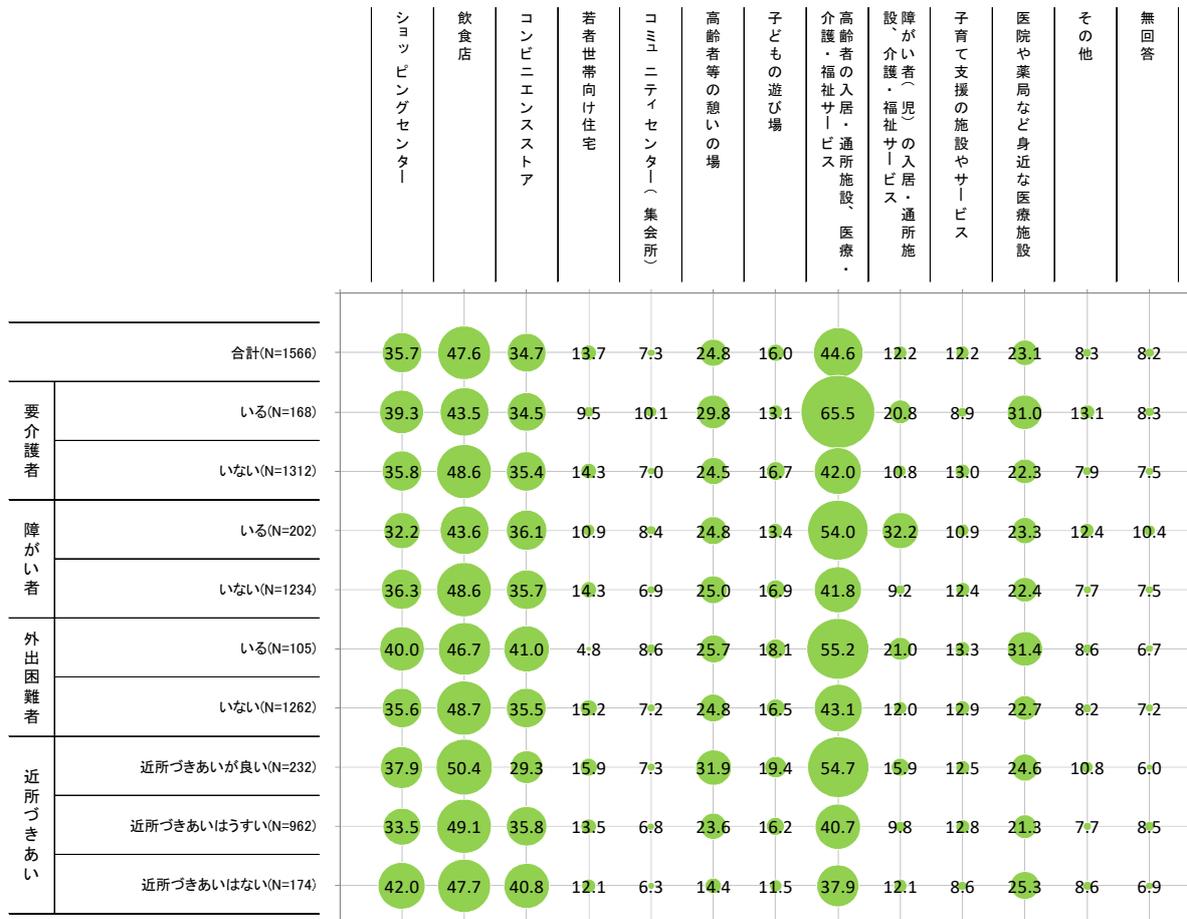
(近所づきあい)

「良い」が「ない」より高い項目は、「高齢者の入居・通所施設、医療・介護・福祉サービス」(54.7%, 37.9% 16.8ポイント高)、「高齢者等の憩いの場」(31.9%, 14.4% 17.5ポイント高)となっています。逆に、「ない」が「良い」より高い項目は、「ショッピングセンター」(42.0%, 37.9% 4.1ポイント高)、「コンビニエンスストア」(40.8%, 29.3% 11.5ポイント高)となっています。

問6 UR金剛団地の周辺地域で不足していると思われる施設・サービスはありますか。(〇はいくつでも)

		ショッピングセンター	飲食店	コンビニエンスストア	若者世帯向け住宅	コミュニティセンター(集会所)	高齢者等の憩いの場	子どもの遊び場	高齢者の入居・通所施設、介護・福祉サービス	障がい者(児)の入居・通所施設、介護・福祉サービス	子育て支援の施設やサービス	医院や薬局など身近な医療施設	その他	無回答
合計(N=1566)		35.7	47.6	34.7	13.7	7.3	24.8	16.0	44.6	12.2	12.2	23.1	8.3	8.2
小学校区	久野喜台小学校区(N=335)	33.4	49.9	16.4	14.9	5.4	24.2	17.6	47.5	10.7	13.7	23.9	9.3	9.0
	高辺台小学校区(N=507)	29.0	43.8	27.4	15.4	9.1	27.4	17.2	43.0	13.4	14.4	18.9	6.7	10.8
	寺池台小学校区(N=551)	42.5	51.9	52.6	12.3	6.7	22.7	15.1	45.0	12.9	10.9	26.1	8.5	5.3
	伏山台小学校区(N=40)	37.5	47.5	32.5	15.0	10.0	37.5	22.5	40.0	17.5	7.5	30.0	7.5	10.0
	5年以下(N=266)	41.7	55.3	46.6	16.2	6.8	15.8	13.9	28.2	7.5	13.9	25.6	10.5	5.3
居住年数	6~10年(N=160)	38.1	44.4	48.8	15.6	5.6	19.4	11.9	32.5	9.4	6.3	24.4	6.9	6.9
	11~20年(N=267)	34.8	44.2	37.8	11.2	5.6	23.2	15.4	50.2	11.6	11.2	23.2	8.6	8.6
	21~30年(N=183)	32.8	45.9	33.3	13.7	6.0	22.4	16.9	42.6	12.6	13.7	16.9	8.7	8.2
	31年以上(N=670)	34.6	47.5	26.3	13.6	9.0	30.7	17.6	52.7	15.1	12.8	23.6	7.8	9.0
	世帯類型7区分	単身世帯(その他)(N=161)	32.3	44.7	44.1	12.4	4.3	15.5	14.3	29.2	6.8	7.5	20.5	9.9
単身世帯(高齢者)(N=408)	39.5	49.8	32.4	10.5	7.6	29.2	11.8	49.5	8.3	9.3	24.3	8.6	7.6	
高齢者2人のみ世帯(N=408)	32.6	46.1	27.0	14.7	10.3	31.6	15.4	55.6	15.2	12.0	24.5	7.8	9.3	
若者のみ・非子育て世帯(N=31)	38.7	64.5	41.9	35.5	3.2	9.7	41.9	12.9	12.9	29.0	22.6	12.9		
若者のみ・子育て世帯(N=49)	38.8	53.1	34.7	36.7	2.0	4.1	53.1	4.1	4.1	38.8	6.1	2.0	4.1	
その他・非子育て世帯(N=387)	35.4	48.1	40.6	12.9	5.9	23.0	15.2	43.4	16.5	12.4	22.5	8.3	7.8	
その他・子育て世帯(N=22)	31.8	45.5	45.5	9.1	4.5	9.1	36.4	31.8	9.1	31.8	9.1	13.6		
合計(N=1566)		35.7	47.6	34.7	13.7	7.3	24.8	16.0	44.6	12.2	12.2	23.1	8.3	8.2
その他世帯	若者世帯(N=117)	39.3	53.8	40.2	29.9	2.6	7.7	37.6	12.8	6.8	28.2	14.5	10.3	4.3
	非若者世帯(N=1349)	35.2	47.6	34.3	12.5	7.6	26.7	14.5	47.6	12.7	11.0	23.3	8.2	8.0
	子育て世帯(N=71)	36.6	50.7	38.0	28.2	2.8	5.6	47.9	12.7	5.6	36.6	7.0	5.6	2.8
	非子育て世帯(N=1395)	35.5	48.0	34.6	13.2	7.5	26.2	14.8	46.5	12.5	11.2	23.4	8.5	8.0

図 その他の項目別 団地周辺地域で不足する施設・サービス



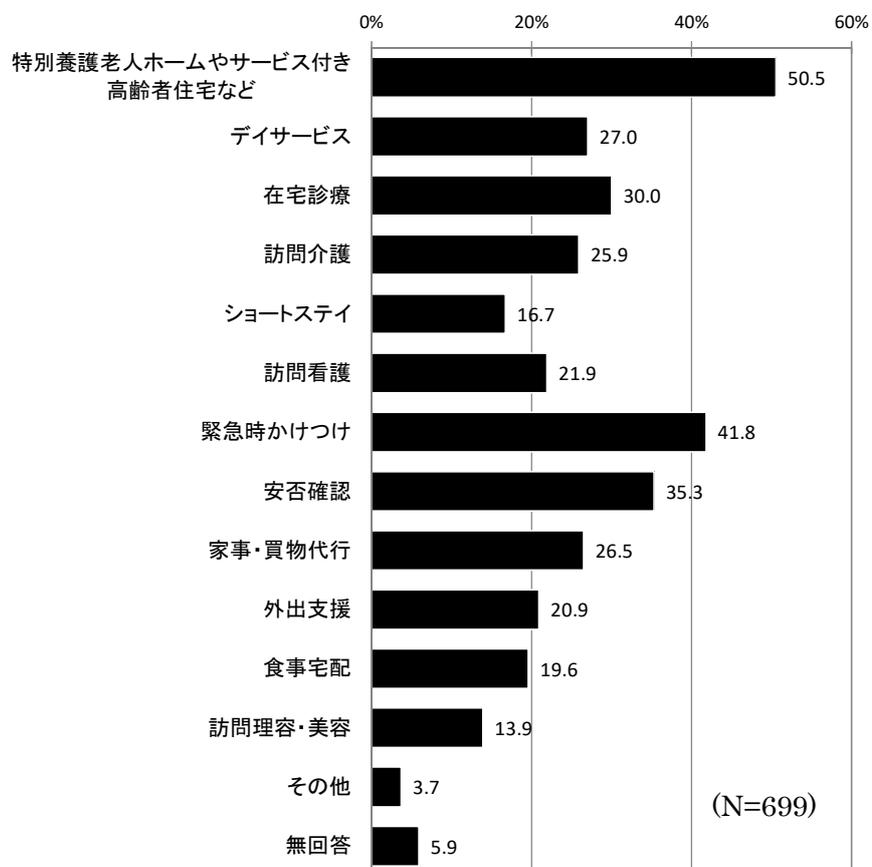
※外出困難者の有無別世帯数は問 14 の回答結果より算出

問 6-1 「8 高齢者の入居・通所施設、医療・介護・福祉サービス」を選択された方の希望する施設やサービス

【合計】

問 6 で「高齢者の入居・通所施設、医療・介護・福祉サービス」を選択された方（699 世帯）が希望する施設やサービスは、「特別養護老人ホームやサービス付き高齢者住宅など」（50.5%）、「緊急時かけつけ」（41.8%）、「安否確認」（35.3%）、「在宅診療」（30.0%）が主な項目となっています。

問 6-1 問6で「8 高齢者の入居・通所施設、医療・介護・福祉サービス」を選択された方におたずねします。どのような施設やサービスですか。（〇はいくつでも）

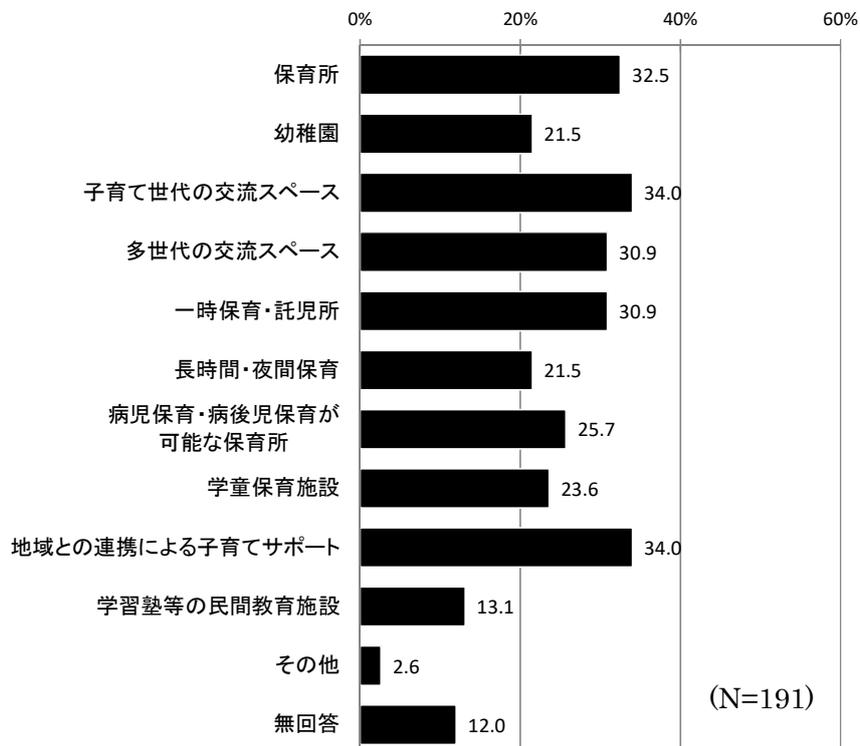


問 6-2 「10 子育て支援の施設やサービス」を選択された方の希望する施設やサービス

【合計】

問 6 で「子育て支援の施設やサービス」を選択された方（191 世帯）が希望する施設やサービスは、「子育て世代の交流スペース」（34.0%）、「地域との連携による子育てサポート」（34.0%）、「保育所」（32.5%）、「多世代の交流スペース」（30.9%）、「一時保育・託児所」（30.9%）が主な項目となっています。

問 6-2 問6で「10 子育て支援の施設やサービス」を選択された方におたずねします。どのような施設やサービスですか。（〇はいくつでも）



問 7 UR金剛団地の居留意向

【合計】

「引き続きUR金剛団地に住みたい」(65.8%)、「団地から富田林市内に転居したい又は転居する」(3.9%)、「団地から富田林市外に転居したい又は転出する」(3.6%)、「その他」(2.1%)、「何も決めていない」(19.5%)となっています。

【小学校区】

「引き続きUR金剛団地に住みたい」の項目については、「伏山台小学校区」(60.0%)が他の小学校区より低くなっています。

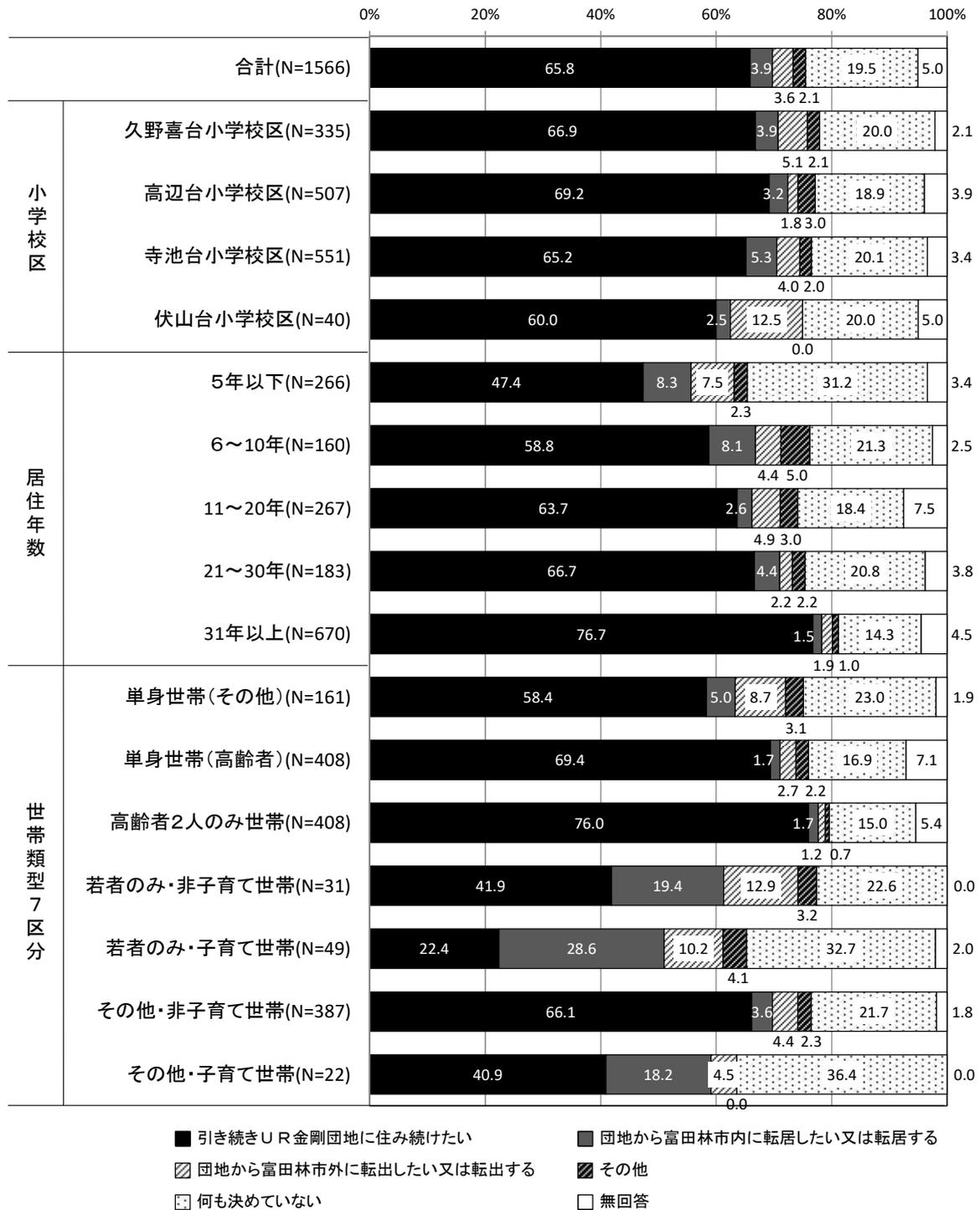
【居住年数】

「引き続きUR金剛団地に住みたい」の項目については、居住歴が長くなるにしたがって高くなる傾向がみられます。

【世帯類型】

「引き続きUR金剛団地に住みたい」の項目については、「若者のみ・子育て世帯」(22.4%)、「その他・子育て世帯」(40.9%)、「若者のみ・非子育て世帯」(41.9%)が他の世帯より低くなっています。

問 7 ご家族はUR金剛団地に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)



問 7-1 1) 市内転居の理由(複数回答 いくつでも)

【合計】

市内転居を希望している(61世帯)の転居理由は、「住環境に不満があるから」(36.1%)、「家賃や物価が高いから」(32.8%)、「その他」(32.8%)、「子どもが生まれ住宅が手狭になったから」(23.0%)、が主な項目となっています。

問 7-1 2) 市外転出の理由(複数回答 いくつでも)

【合計】

市外転出を希望している(57世帯)の転出理由は、「住環境に不満があるから」(28.1%)、「自分や家族の通勤・通学などに不便だから」(26.3%)、「買い物や余暇活動に不便だから」(24.6%)、「家賃や物価が高いから」(24.6%)が主な項目となっています。

問 7-1 問7で「2 団地から富田林市内に転居したい又は転居する」、「3 団地から富田林市外に転出したい又は転出する」を選ばれた方におたずねします。転居、転出の理由は何ですか。1)市内に転居したい又は転居すると2)市外に転出したい又は転出する該当する項目の()内に○をつけてください。(○はいくつでも)

図 富田林市内に転居したい又は転居する理由

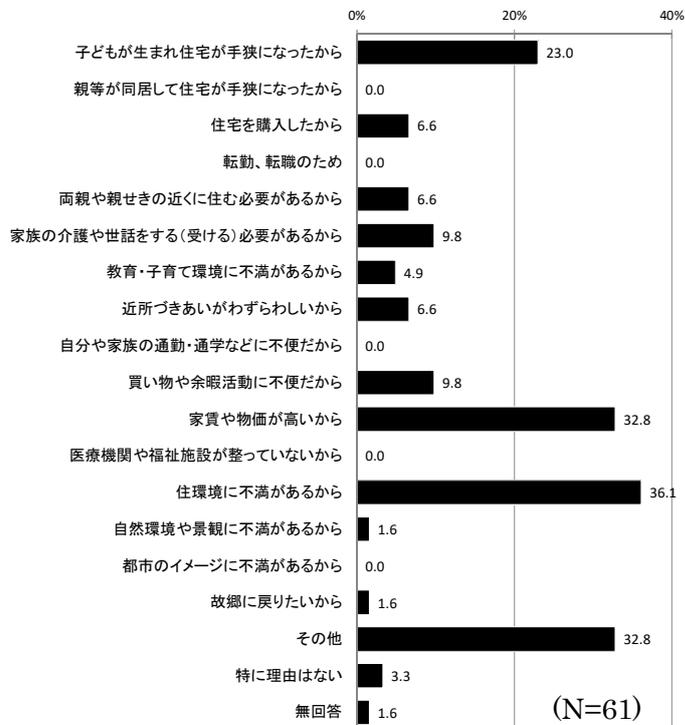


図 富田林市外に転出したい又は転出する



問8 不安や悩み(複数回答 いくつでも)

【合計】

「老後のこと」(60.0%)、「健康のこと」(57.4%)、「家計や経済的なこと」(36.1%)、「看護や介護のこと」(25.3%)、「災害への備えや避難に関すること」(19.5%)が主な項目となっています。

【小学校区】

大きな差はありません。

【居住年数】

大きな差はありません。

【世帯類型】

「老後のこと」、「健康のこと」の項目については、「若者のみ・非子育て世帯」(35.5% 35.5%)、「若者のみ・子育て世帯」(34.7% 30.6%)が他の世帯より低くなっています。一方、「子どもの教育や将来のこと」、「子育てに関すること」の項目については、「若者のみ・子育て世帯」(57.1% 40.8%)、「その他・子育て世帯」(54.5% 40.9%)、「若者のみ・非子育て世帯」(38.7% 29.0%)が他の世帯より高くなっています。

【その他の項目別集計結果】

(介護を受けている人(介護認定を受けている))

「いる」が「いない」より高い項目は、「健康のこと」(66.1%, 56.5% 9.6ポイント高)、「看護や介護のこと」(46.4%, 22.8% 23.6ポイント高)、「買物・通院などの移動手段に関すること」(29.8%, 14.6% 15.2ポイント高)、「災害への備えや避難に関すること」(25.6%, 18.8% 6.8ポイント高)となっています。

(障がいのある人)

「いる」が「いない」より高い項目は、「看護や介護のこと」(33.7%, 23.6% 10.1ポイント高)、「災害への備えや避難に関すること」(26.7%, 18.2% 8.5ポイント高)、「買物・通院などの移動手段に関すること」(20.3%, 15.1% 5.2ポイント高)となっています。

(外出困難者)

「いる」が「いない」より高い項目は、「家計や経済的なこと」(44.8%, 37.2% 7.6ポイント高)、「買物・通院などの移動手段に関すること」(21.9%, 15.5% 6.4ポイント高)、「健康のこと」(63.8%, 58.0% 5.8ポイント高)となっています。

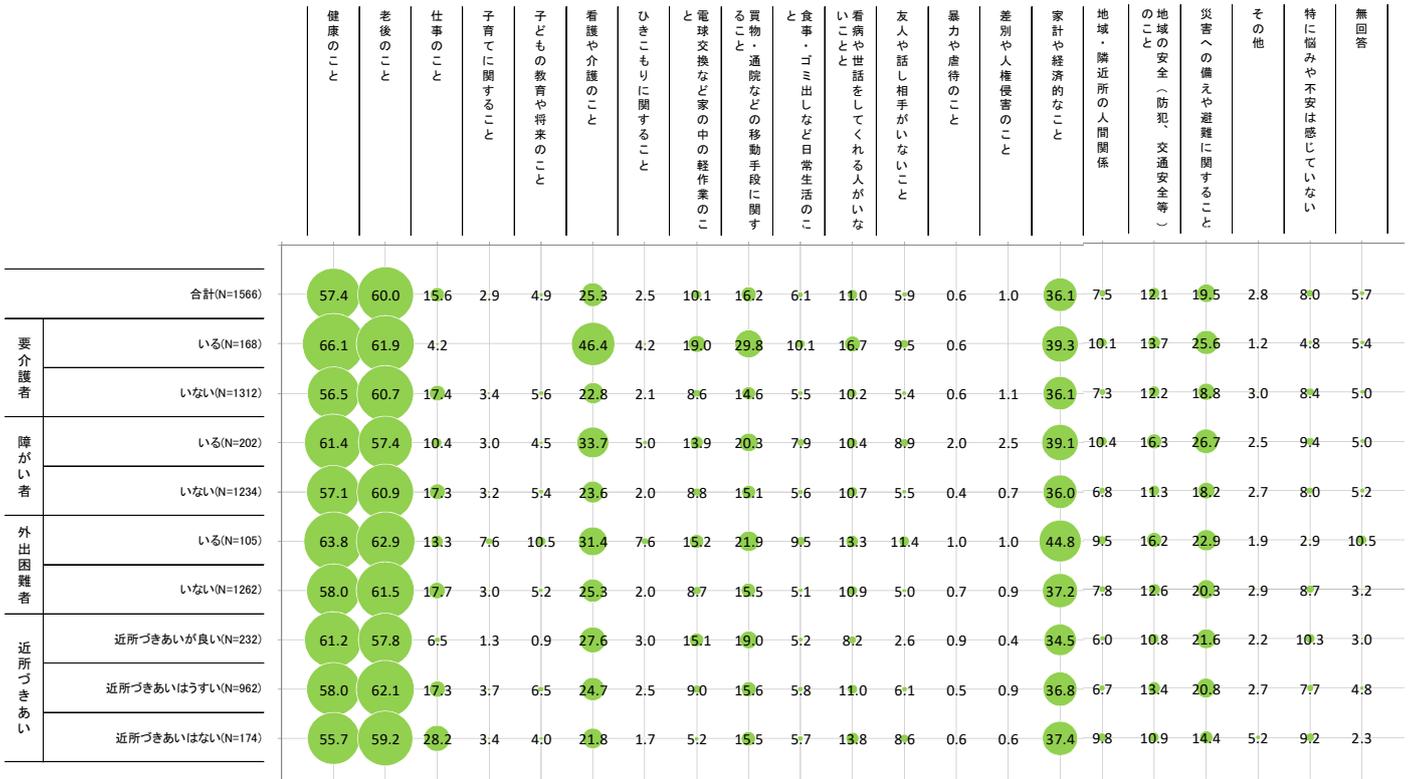
(近所づきあい)

大きな差はありません。

問 8 あなたやご家族は、日々の暮らしの中で、不安や悩みを感じていますか。困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

		健康のこと	老後のこと	仕事のこと	子育てに関すること	子どもの教育や将来のこと	看護や介護のこと	ひきこもりに関すること	電球交換など家の軽作業のこと	買物・通院などの移動手段に関すること	食事・ゴミ出しなど日常生活のこと	看病や世話をしてくれる人がいないこと	友人や話し相手がないこと	暴力や虐待のこと	差別や人権侵害のこと	家計や経済的なこと	地域・隣近所の人間関係	地域の安全（防犯、交通安全等）のこと	災害への備えや避難に関すること	その他	特に悩みや不安は感じていない	無回答
合計(N=1566)		57.4	60.0	15.6	2.9	4.9	25.3	2.5	10.1	16.2	6.1	11.0	5.9	0.6	1.0	36.1	7.5	12.1	19.5	2.8	8.0	5.7
小学校区	久野善台小学校区(N=335)	59.4	60.9	14.3	4.5	6.0	25.1	3.6	10.1	17.6	6.6	11.0	6.0	0.9	0.6	36.7	6.6	13.1	22.4	2.7	7.8	4.2
	高辺台小学校区(N=507)	56.8	60.0	14.6	2.6	4.7	27.2	2.4	10.5	14.2	5.3	11.6	5.5	0.6	1.0	34.1	8.7	12.0	17.8	3.2	7.5	3.9
	寺池台小学校区(N=551)	58.4	62.4	16.7	2.5	5.1	25.8	2.2	10.7	19.2	6.2	11.3	6.0	0.4	1.1	38.8	7.3	11.6	19.8	2.2	8.3	4.0
	伏山台小学校区(N=40)	65.0	55.0	17.5		2.5	20.0	5.0	10.0	12.5	7.5	7.5	2.5	5.0		45.0	15.0	22.5	32.5	7.5	12.5	2.5
	5年以下(N=266)	50.0	53.8	27.4	10.5	12.8	15.8	3.0	9.0	18.4	6.8	6.8	9.4	0.8	2.3	37.2	9.0	12.4	20.7	4.1	8.3	5.3
居住年数	6～10年(N=160)	47.5	61.9	20.0	2.5	5.6	18.1	1.3	8.1	15.0	8.8	13.8	7.5	0.6	1.9	36.3	9.4	13.1	15.0	2.5	11.9	3.8
	11～20年(N=267)	57.7	62.2	18.0	3.0	9.0	27.0	3.0	11.2	14.6	6.7	12.7	5.6	0.7	0.7	32.2	4.9	12.0	19.1	3.4	7.5	6.7
	21～30年(N=183)	56.3	65.6	18.6	1.1	1.6	19.1	2.7	9.3	10.9	4.4	12.6	4.4	1.1	0.5	38.8	6.6	16.4	22.4	2.2	5.5	3.8
	31年以上(N=670)	63.6	60.0	8.2	0.6	0.9	32.1	2.4	11.0	17.6	5.5	10.7	4.9	0.4	0.4	36.9	8.1	10.9	19.9	2.2	7.8	5.8
	単身世帯(その他)(N=161)	53.4	70.8	37.9	1.2	1.2	16.5	1.2	6.8	13.7	6.2	14.9	8.1	1.9	3.1	37.9	9.9	14.3	20.5	6.2	10.6	1.9
世帯類型7区分	単身世帯(高齢者)(N=408)	57.6	56.4	4.9		0.5	21.8	2.5	17.2	14.5	5.6	18.9	6.6	0.7	0.7	31.9	6.1	7.4	15.4	3.7	7.6	5.6
	高齢者2人のみ世帯(N=408)	62.7	59.1	2.7	0.2		35.3	1.5	9.8	22.1	7.1	8.1	6.1		0.2	32.4	7.1	9.1	15.2	1.2	7.6	8.3
	若者のみ・非子育て世帯(N=31)	35.5	35.5	48.4	29.0	38.7	6.5			9.7	3.2	9.7	6.5		3.2	41.9	9.7	22.6	45.2	3.2	9.7	
	若者のみ・子育て世帯(N=49)	30.6	34.7	38.8	40.8	57.1	2.0	2.0	2.0	14.3	12.2	2.0		2.0		49.0	12.2	22.4	26.5		14.3	2.0
	その他・非子育て世帯(N=387)	58.4	67.7	23.5	1.3	5.2	28.7	4.7	6.7	13.7	5.2	4.9	4.9	0.8	1.0	42.6	7.0	16.8	24.3	2.6	7.0	4.1
	その他・子育て世帯(N=22)	54.5	54.5	59.1	40.9	54.5	13.6				4.5		9.1			54.5	4.5	31.8	27.3		13.6	

図 その他の項目別 日々の暮らしの中での不安や悩みの内容



問 8-1 相談先(複数回答 いくつでも)

【合計】

「家族、親族」(70.3%)、「友人、知人」(40.4%)、「市役所等行政機関」(18.1%)、「病院や開業医など」(10.2%)が主な項目となっています。「相談する機関などがわからない」は10.6%となっています。

【小学校区】

大きな差はありません。

【居住年数】

大きな差はありません。

【世帯類型】

「家族、親族」の項目については、「単身世帯(その他)」(64.6%)、「単身世帯(高齢者)」(59.1%)は他の世帯より低くなっています。

「友人、知人」の項目については、「高齢者のみ2人世帯」(27.7%)、「単身世帯(高齢者)」(36.5%)は他の世帯より低くなっています。

「市役所等行政機関」の項目については、「単身世帯(高齢者)」(21.8%)、「高齢者のみ2人世帯」(22.1%)は他の世帯より高く、「若者のみ・非子育て世帯」(3.2%)、「若者のみ・子育て世帯」(4.1%)は他の世帯より低くなっています。

【その他の項目別集計結果】

(介護を受けている人(介護認定を受けている))

「いる」が「いない」より高い項目は、「ケアマネージャーなど介護関係者」(44.6%, 4.9% 39.7ポイント高)で、逆に低い項目は「友人、知人」(28.0%, 42.4% 14.4ポイント低)となっています。

(障がいのある人)

「いる」が「いない」より高い項目は、「ケアマネージャーなど介護関係者」(24.8%, 5.7% 19.1ポイント高)、「市役所等行政機関」(24.3%, 17.4% 6.9ポイント高)で、逆に低い項目は、「友人、知人」(35.6%, 42.3% 6.7ポイント低)、「家族、親族」(65.8%, 71.6% 5.8ポイント低)となっています。

(外出困難者)

「いる」が「いない」より低い項目は、「友人、知人」(36.2%, 43.0% 6.8ポイント低)、「家族、親族」(65.7%, 72.3% 6.6ポイント低)となっています。

(近所づきあい)

「ある」が「ない」より高い項目は、「家族、親族」(75.4%, 61.5% 13.9ポイント高)となっています。

問 8-1 あなたやご家族は、日々の暮らしの中で、不安や悩みを抱えたとき、どこに相談しますか。
(〇はいくつでも)

		家族・親族	友人・知人	職場の上司・同僚など	隣近所の人、町内会・自治会の役員など	民生委員・児童委員	校区・地区福祉委員	市役所等行政機関	地域包括支援センター（ほんわかセンター）	社会福祉協議会	ケアマネージャーなど介護関係者	（CSW） コミュニティソーシャルワーカー	病院や開業医など	NPO、ボランティア団体	その他	相談する人がいない	相談する機関などがわからない	どこにも相談したくない	無回答
合計(N=1566)		70.3	40.4	7.1	3.8	2.9	0.6	10.1	5.3	3.3	9.5	0.5	10.2	0.4	1.5	5.4	10.6	2.5	5.3
小学校区	久野喜台小学校区(N=335)	74.6	45.4	7.2	3.9	3.6	0.3	15.8	5.4	3.0	10.1	0.9	10.4	0.6	1.2	6.0	10.7	2.4	3.9
	高辺台小学校区(N=507)	71.4	38.9	6.1	4.1	2.4	0.6	20.1	6.1	3.6	7.9	0.4	10.1		1.4	5.1	10.7	2.6	4.7
	寺池台小学校区(N=551)	70.6	41.0	7.6	4.0	4.0	1.1	10.5	5.6	3.4	11.8	0.5	11.8	0.5	2.0	5.8	10.9	2.7	2.7
	伏山台小学校区(N=40)	67.5	40.0	10.0	5.0			22.5			2.5		7.5		2.5	2.5	15.0	2.5	5.0
	5年以下(N=266)	68.0	45.9	13.2	1.5	3.0	1.5	12.4	5.6	3.4	6.4	0.8	5.6	1.1	1.9	7.1	9.8	2.3	4.1
居住年数	6~10年(N=160)	71.9	38.8	9.4	3.1	2.5		18.8	5.0	1.9	9.4		10.6	0.6	1.9	5.0	8.1	2.5	3.8
	11~20年(N=267)	67.0	45.3	10.1	5.2	1.9	0.4	21.3	3.7	3.4	12.0		10.5	0.4	2.2	5.2	7.5	3.4	6.0
	21~30年(N=183)	71.6	50.8	10.4	3.3	0.5		10.4	2.2	2.2	5.5		7.7		0.5	7.7	11.5	1.6	4.4
	31年以上(N=670)	72.1	34.2	2.2	4.5	4.2	0.7	20.9	6.6	3.9	10.9	0.9	12.5	0.3	1.2	4.2	12.5	2.4	5.8
世帯類型7区分	単身世帯(その他)(N=161)	64.6	54.0	21.7	1.9	1.2	0.6	11.2	3.1	2.5	5.0	0.6	8.1	1.2	1.9	6.8	9.3	3.7	1.9
	単身世帯(高齢者)(N=408)	59.1	36.5	1.2	4.7	3.4	0.5	21.8	7.1	4.4	12.7	0.5	9.8		1.7	6.1	10.0	2.9	7.1
	高齢者2人のみ世帯(N=408)	74.3	27.7	0.2	3.2	5.9	1.5	22.1	8.3	5.4	12.0	1.0	13.5	0.5	1.0	5.6	13.5	2.0	7.1
	若者のみ・非子育て世帯(N=31)	87.1	67.7	45.2				3.2					6.5			6.5	3.2		3.2
	若者のみ・子育て世帯(N=49)	87.8	67.3	22.4	4.1			4.1							2.0	2.0	4.1	2.0	2.0
	その他・非子育て世帯(N=387)	77.8	45.5	9.3	4.9	1.0		16.0	3.1	0.5	6.7		8.3	0.3	1.6	4.1	10.9	2.3	2.8
	その他・子育て世帯(N=22)	95.5	68.2	27.3				18.2			4.5	4.5	9.1		4.5		4.5		
合計(N=1566)		70.3	40.4	7.1	3.8	2.9	0.6	10.1	5.3	3.3	9.5	0.5	10.2	0.4	1.5	5.4	10.6	2.5	5.3
要介護者	いる(N=168)	70.2	28.0	3.0	6.0	2.4	0.6	16.1	7.7	3.6	44.6	1.2	14.9	0.6	0.6	4.8	7.1	1.8	8.9
	いない(N=1312)	71.1	42.4	7.6	3.4	2.8	0.7	18.7	5.0	3.2	4.9	0.5	10.0	0.5	1.7	5.0	10.8	2.4	4.3
障がい者	いる(N=202)	65.8	35.6	4.0	4.5	4.5	1.0	24.3	6.9	4.5	24.8	1.0	17.8	1.0	2.0	5.9	8.9	3.0	6.4
	いない(N=1234)	71.6	42.3	8.0	3.6	2.6	0.6	17.4	4.5	2.9	5.7	0.4	9.4	0.3	1.5	5.3	11.1	2.3	4.9
外出困難者	いる(N=105)	65.7	36.2	7.6		2.9		17.1	7.6	5.7	13.3	1.9	13.3	2.9	2.9	9.5	18.1	1.0	8.6
	いない(N=1262)	72.3	43.0	7.9	4.0	2.9	0.6	17.9	4.9	3.0	7.9	0.4	9.6	0.3	1.5	5.2	10.4	2.8	3.3
近所づきあい	近所づきあいが良い(N=232)	75.4	57.8	3.9	11.2	7.8	1.7	21.6	7.3	5.6	11.6	0.4	16.8	0.9	2.2	0.9	5.2	0.4	5.2
	近所づきあいはうすい(N=962)	71.1	38.0	8.5	2.3	1.7	0.4	17.5	5.2	1.8	8.3	0.5	9.3	0.3	1.5	5.6	11.1	2.6	5.0
	近所づきあいはない(N=174)	61.5	39.1	9.8		2.3	0.6	10.9	2.3	3.4	8.0	0.6	3.4	1.1	1.7	10.3	15.5	5.2	2.3

問 9 民生委員・児童委員の認知度

【合計】

「顔も名前も知っている」(12.6%)、「顔はわからないが、名前は知っている」(4.5%)、「顔はわかるが、名前は知らない」(1.5%)を合わせた『認知している』は18.6%で、「だれが担当なのかわからない」(58.3%)と「民生委員・児童委員の制度を知らない」(17.8%)を合わせた『認知していない』は76.1%となっています。

【小学校区】

『認知している』の項目については、「伏山台小学校区」(12.5%)が他の小学校区より低くなっています。

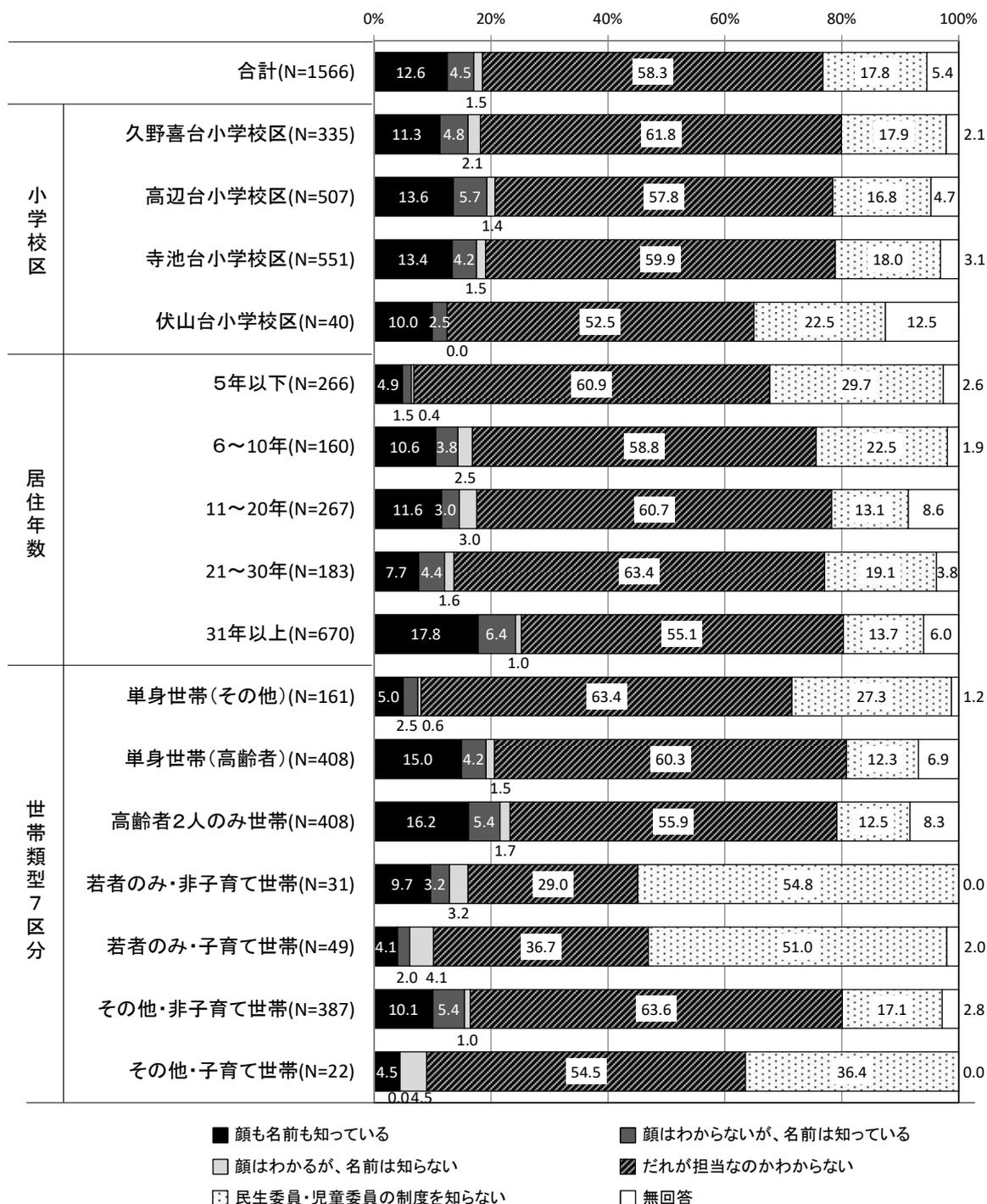
【居住年数】

『認知している』の項目については、「31年以上」(25.2%)が他の居住年数より高くなっています。

【世帯類型】

『認知している』の項目については、「高齢者2人のみ世帯」(23.3%)、「単独世帯(高齢者)」(20.7%)が他の世帯より高くなっています。

問9 あなたやご家族は、地域を担当している「民生委員・児童委員」について、どの程度知っていますか。(〇は1つ)



問 10 小学校区

【合計】

「久野喜台小学校区」(21.4%)、「高辺台小学校区」(32.4%)、「寺池台小学校区」(35.2%)、「伏山台小学校区」(2.6%) となっています。

【小学校区別居住年数】

『10年以下』の項目については、「伏山台小学校区」(2.5%)が他の小学校区より低く、「31年以上」の項目については、「伏山台小学校区」(62.5%)が他の小学校区より高くなっています。

【小学校区別世帯類型】

「伏山台小学校区」は、「単身世帯(その他)」(17.5%)、「高齢者2人世帯」(30.0%)、「その他・非子育て世帯」(35.0%)の項目については、他の小学校区より高く、「単身世帯(高齢者)」(17.5%)、「若者のみ・非子育て世帯」(0.0%)、「若者のみ・子育て世帯」(0.0%)は他の小学校区より低くなっています。「伏山台小学校区」以外の3つの小学校区は大きな差はありません。

問 10 お住いの地域の小学校区はどちらですか。(○は1つ)

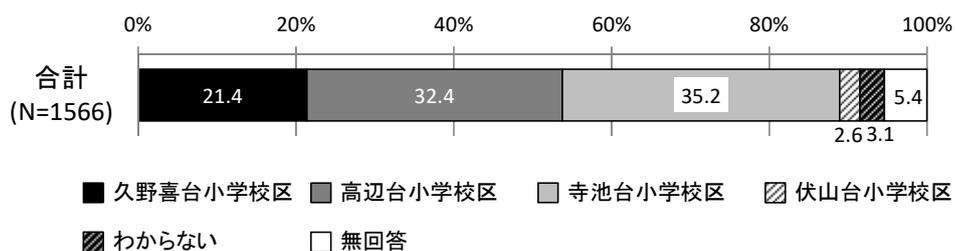


図 小学校区別の居住年数

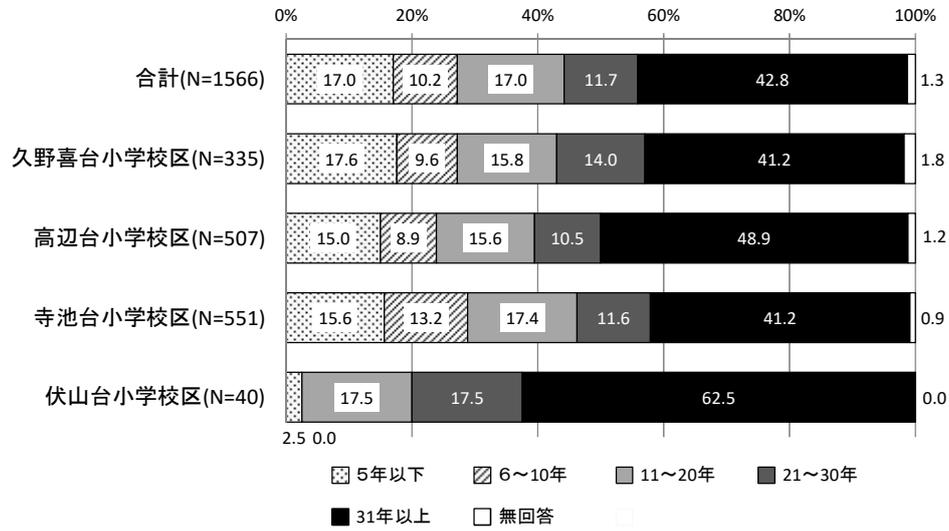
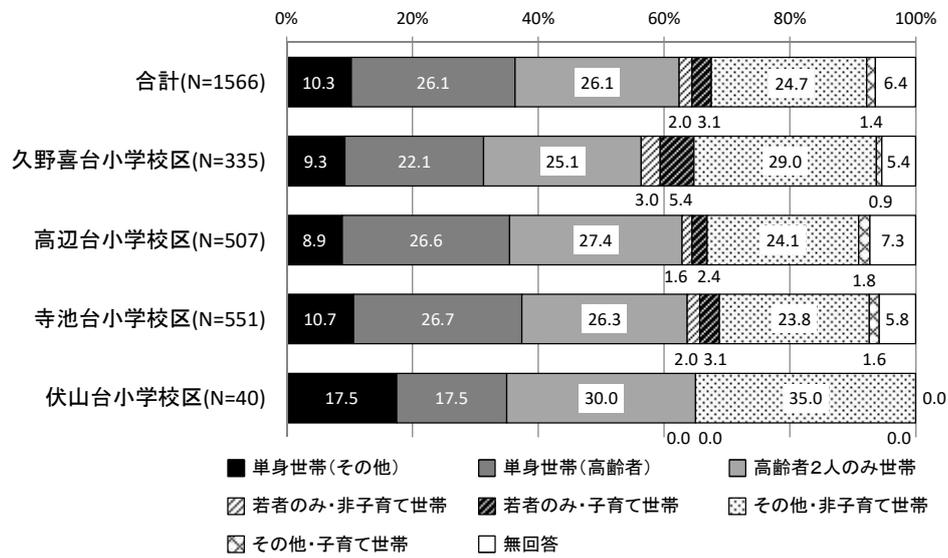


図 小学校区別の世帯類型7区分



問 11 校区・地区福祉委員会の認知度

【合計】

「活動内容も福祉委員の名前も知っている」(3.8%)、「活動内容も福祉委員の名前も少しは知っている」(4.3%)を合わせた『認知している』は8.1%で、「校区・地区福祉委員会について何も知らない」は63.9%となっています。

【小学校区】

『認知している』の項目については、「伏山台小学校区」は0.0%です。

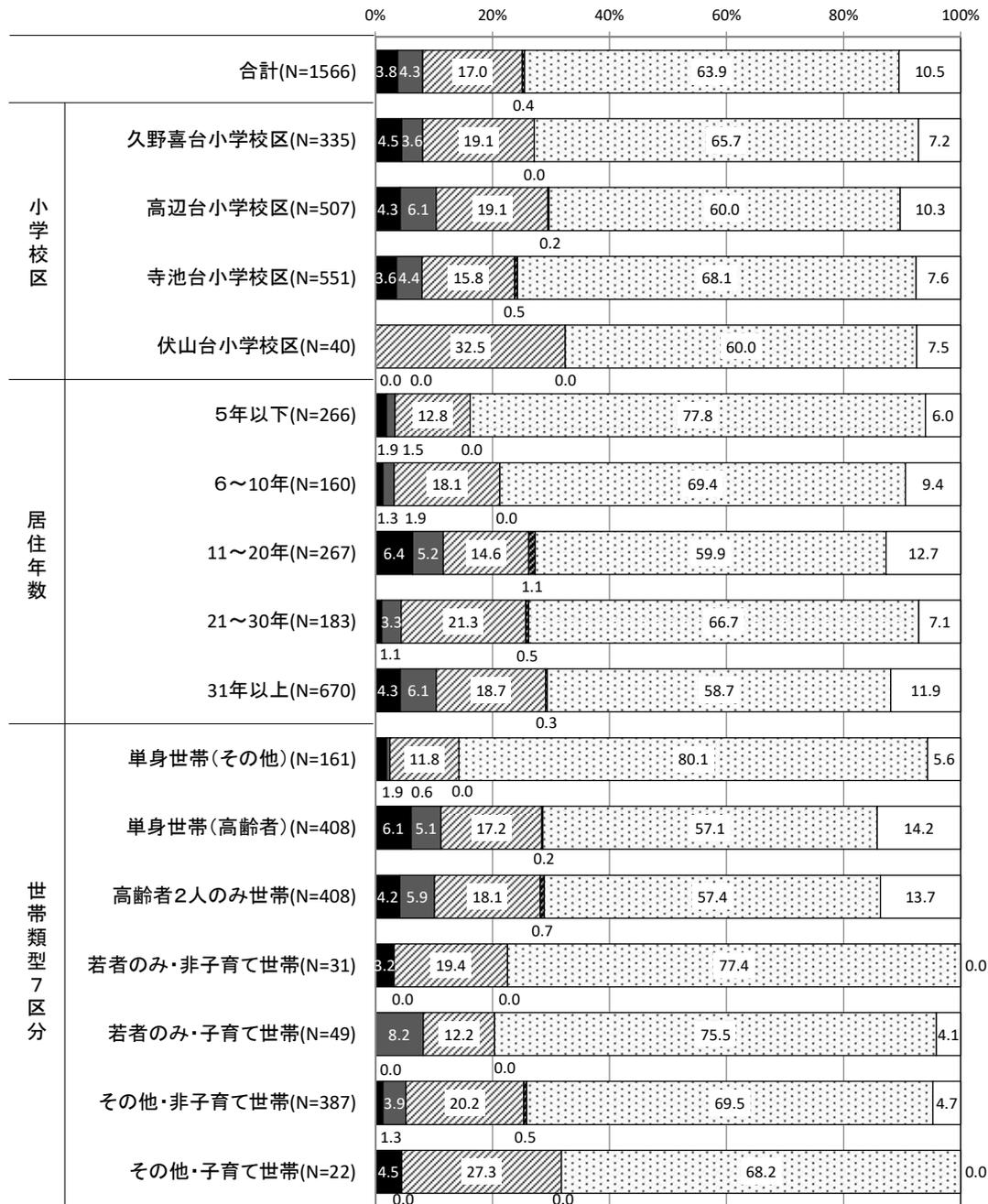
【居住年数】

『認知している』の項目については、「11～20年」(11.6%)、「31年以上」(10.4%)が他の居住年数より高くなっています。

【世帯類型】

『認知している』の項目については、「単独世帯(高齢者)」(11.2%)、「高齢者2人のみ世帯」(10.1%)が他の世帯より高くなっています。

問 11 お住いの地域の「校区・地区福祉委員会」について、どの程度知っていますか。(〇は1つ)



- 活動内容も福祉委員の名前も知っている
- 活動内容も福祉委員の名前も少しは知っている
- ▨ 校区・地区福祉委員会の名称を聞いたことはあるが、活動内容は知らない
- ▨ 地域に校区・地区福祉委員会はない
- 校区・地区福祉委員会について何も知らない
- 無回答

問 12 福祉サービス情報の入手先(複数回答 いくつでも)

【合計】

「市の広報誌や窓口」(44.6%)、「家族、友人、知人」(17.4%)、「新聞、テレビ、ラジオなど」(14.7%)が主な項目となっています。「どこからも入手していない」は26.0%となっています。

【小学校区】

「市の広報誌や窓口」の項目については、「伏山台小学校区」(52.5%)が他の小学校区より高くなっています。

「家族、友人、知人」の項目については、「伏山台小学校区」(10.0%)が他の小学校区より低くなっています。

「どこからも入手していない」の項目については、「伏山台小学校区」(32.5%)が他の小学校区より高くなっています。

【居住年数】

「インターネット」の項目については、「～5年」(13.2%)が他の居住年数より高くなっています。

【世帯類型】

「市の広報誌や窓口」の項目については、「若者のみ・子育て世帯」(24.5%)、「若者のみ・非子育て世帯」(35.5%)が他の世帯より低くなっています。

「どこからも入手していない」の項目については、「若者のみ・非子育て世帯」(48.4%)、「単独世帯(その他)」(41.0%)、「若者のみ・子育て世帯」(38.8%)が他の世帯より高くなっています。

【その他の項目別集計結果】

(介護を受けている人(介護認定を受けている))

「いる」が「いない」より高い項目は、「地域包括支援センター(ほんわかセンター)、ケアマネージャー、コミュニティソーシャルワーカー等の福祉の専門職」(36.9%, 4.9% 32.0ポイント高)、「家族、友人、知人」(23.2%, 16.7% 6.5ポイント高)で、逆に低い項目は「市の広報誌や窓口」(34.5%, 46.9% 12.4ポイント低)、「どこからも入手していない」(14.9%, 27.4% 12.5ポイント低)となっています。

(障がいのある人)

「いる」が「いない」より低い項目は、「どこからも入手していない」(19.3%, 27.5% 8.2ポイント低)となっています。

(外出困難者)

「いる」が「いない」より低い項目は、「市の広報誌や窓口」(31.4%, 48.0% 16.6ポイント低)となっています。

(近所づきあい)

「良い」が「ない」より高い項目は、「市の広報誌や窓口」(50.0%, 32.8% 17.2ポイント高)、逆に「ない」が「良い」より高い項目は、「どこからも入手していない」(44.8%, 16.4% 28.4ポイント高)となっています。

問 12 あなたやご家族は、行政、福祉施設、NPO・ボランティア団体等が行っている福祉サービスに関する情報を主にどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

		家族、友人、知人	地域の民生委員・児童委員、地区・校区福祉委員など	地域包括支援センター(ほんわかセンター)、ケアマネジャー、コミュニティソーシャルワーカー等の福祉の専門職	市の広報誌や窓口	社会福祉協議会の広報誌や窓口	隣近所や町会・自治会の回覧板・掲示板	新聞、テレビ、ラジオなど	インターネット	その他	どこからも入手していない	無回答
合計(N=1566)		17.4	2.1	8.4	44.6	5.0	7.2	14.7	7.8	1.1	26.0	7.7
小学校区	久野喜台小学校区(N=335)	18.2	3.3	8.7	41.5	3.9	6.3	17.3	8.1	0.6	27.5	5.4
	高辺台小学校区(N=507)	17.9	1.8	7.5	47.1	5.9	8.3	12.2	7.3	1.4	25.2	7.9
	寺池台小学校区(N=551)	18.1	2.4	11.1	47.2	5.8	8.0	17.4	8.2	1.3	24.9	5.1
	伏山台小学校区(N=40)	10.0		2.5	52.5		5.0	12.5	7.5		32.5	2.5
居住年数	5年以下(N=266)	12.0	0.8	8.3	42.5	5.6	10.2	11.3	13.2	1.5	31.2	5.3
	6～10年(N=160)	17.5	0.6	8.1	43.1	3.8	7.5	13.1	8.8	0.6	35.0	4.4
	11～20年(N=267)	23.6	3.4	10.1	42.7	4.9	5.6	14.6	8.2	1.1	24.3	7.5
	21～30年(N=183)	15.3		6.0	42.6	3.3	4.9	13.1	8.2	2.2	29.5	8.7
	31年以上(N=670)	17.8	3.1	8.8	48.1	5.7	7.3	16.9	5.1	0.6	21.6	8.4
世帯類型7区分	単身世帯(その他)(N=161)	13.0		5.0	40.4	6.2	2.5	8.7	19.9	0.6	41.0	4.3
	単身世帯(高齢者)(N=408)	16.2	2.9	11.8	44.1	5.9	8.8	14.7	3.7	1.7	22.3	8.6
	高齢者2人のみ世帯(N=408)	19.4	2.9	10.5	50.0	5.1	8.6	18.4	4.2	0.7	19.4	10.0
	若者のみ・非子育て世帯(N=31)	19.4			35.5		6.5	12.9	22.6		48.4	
	若者のみ・子育て世帯(N=49)	24.5	2.0		24.5		12.2	6.1	12.2	4.1	38.8	6.1
	その他・非子育て世帯(N=387)	17.3	1.6	7.0	49.1	3.9	5.9	15.0	9.0	0.5	25.3	4.4
	その他・子育て世帯(N=22)	13.6			72.7	9.1	9.1	18.2	27.3		22.7	

図 その他の項目別 福祉サービス情報の入手先

		家族、友人、知人	地域の民生委員・児童委員、地区・校区福祉委員など	ソーシャルワーカー等の福祉の専門職	地域包括支援センター（ほんわかセンター）、ケアマネジャー、コミュニティソーシャルワーカー等の福祉の専門職	市の広報誌や窓口	社会福祉協議会の広報誌や窓口	隣近所や町会・自治会の回覧板・掲示板	新聞、テレビ、ラジオなど	インターネット	その他	どこからも入手していない	無回答
合計(N=1566)		17.4	2.1	8.4	44.6	5.0	7.2	14.7	7.8	1.1	26.0	7.7	
要介護者	いる(N=168)	23.2	1.2	36.9	34.5	4.2	4.8	17.9	3.6	2.4	14.9	7.7	
	いない(N=1312)	16.7	2.3	4.9	46.9	5.1	7.4	14.5	8.5	0.9	27.4	7.1	
障がい者	いる(N=202)	15.8	3.0	18.3	47.5	9.9	7.4	14.9	6.4	2.5	19.3	7.4	
	いない(N=1234)	17.5	2.1	6.0	45.5	4.2	7.3	15.1	8.6	0.7	27.5	6.9	
外出困難者	いる(N=105)	16.2	1.9	10.5	31.4	3.8	6.7	18.1	10.5	1.9	23.8	11.4	
	いない(N=1262)	17.6	2.1	7.4	48.0	5.2	7.3	14.4	8.5	1.0	28.6	2.9	
近所づきあい	近所づきあいが良い(N=232)	32.8	7.3	13.8	50.0	7.3	10.8	15.1	7.8	1.7	16.4	5.2	
	近所づきあいはうすい(N=962)	15.5	1.1	7.8	46.6	4.0	6.9	14.9	7.5	0.8	27.7	4.7	
	近所づきあいはない(N=174)	11.5	1.1	4.0	32.8	6.3	2.9	7.5	12.6	1.1	44.8	6.3	

問 13 福祉サービス情報の入手の程度

【合計】

「十分に入手できていると思う」(1.8%)、「ある程度は入手できていると思う」(16.1%)を合わせた『入手できている』は17.9%で、「あまり入手できていないと思う」(18.5%)、「ほとんど入手できていないと思う」(26.0%)を合わせた『入手できていない』は44.5%となっています。「わからない」は24.7%となっています。

【小学校区】

『入手できている』の項目では、「伏山台小学校区」(5.0%)が他の小学校区より低くなっています。「特に入手する必要はない」の項目については、「伏山台小学校区」(22.5%)は他の小学校区より高くなっています。

【居住年数】

大きな差はありません。

【世帯類型】

『入手できている』の項目では、「若者のみ・非子育て世帯」(3.2%)、「若者のみ・子育て世帯」(10.2%)は他の世帯より低くなっています。

【その他の項目別集計結果】

(介護を受けている人(介護認定を受けている))

『入手できている』の項目では、「いる」(35.1%)は「いない」(15.6%)より19.5ポイント高いですが、『入手できていない』の項目では、「いる」は41.1%となっています。

(障がいのある人)

『入手できている』の項目では、「いる」(30.2%)は「いない」(15.1%)より15.1ポイント高いですが、『入手できていない』の項目では、「いる」は40.6%となっています。

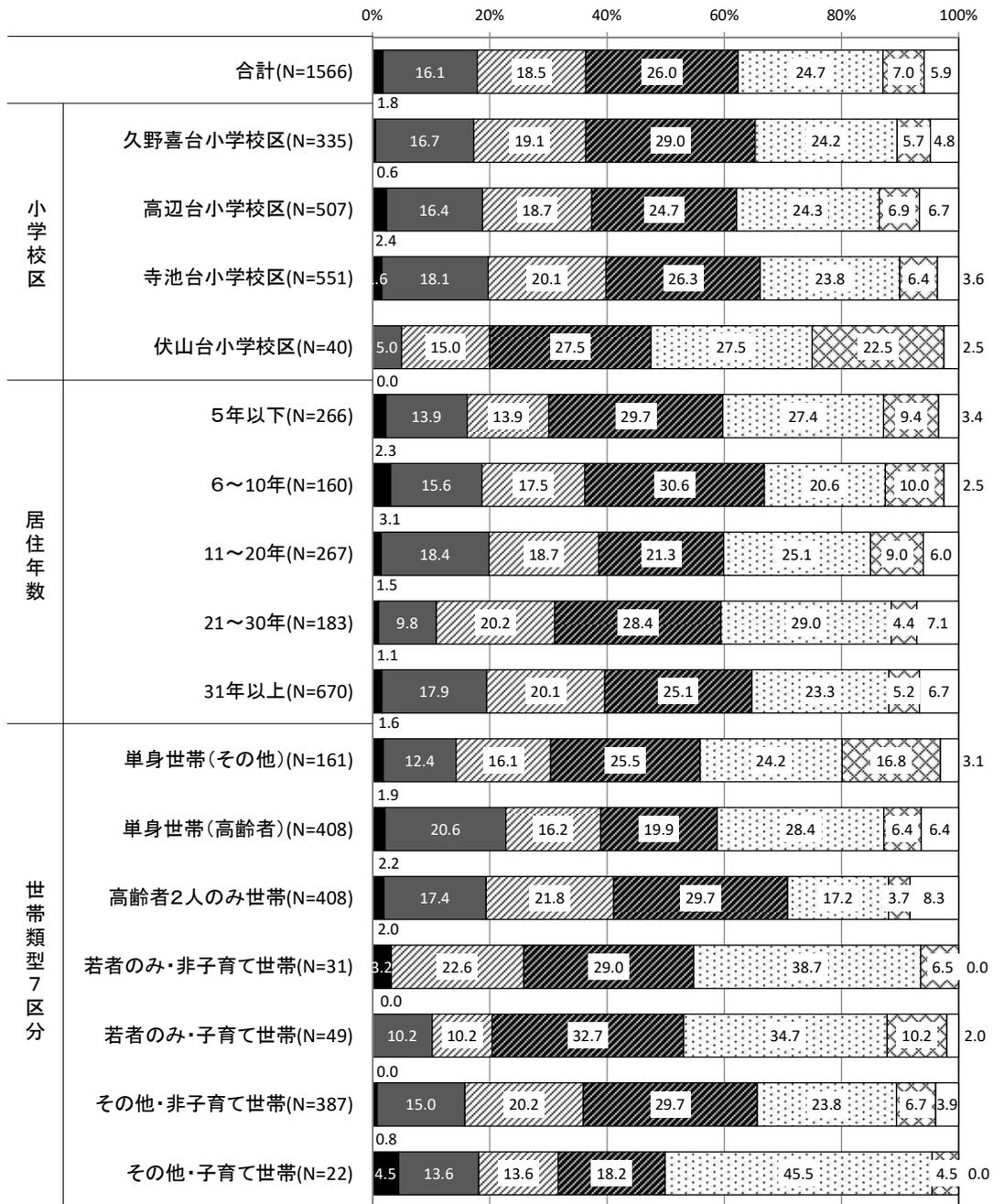
(外出困難者)

大きな差はありません。

(近所づきあい)

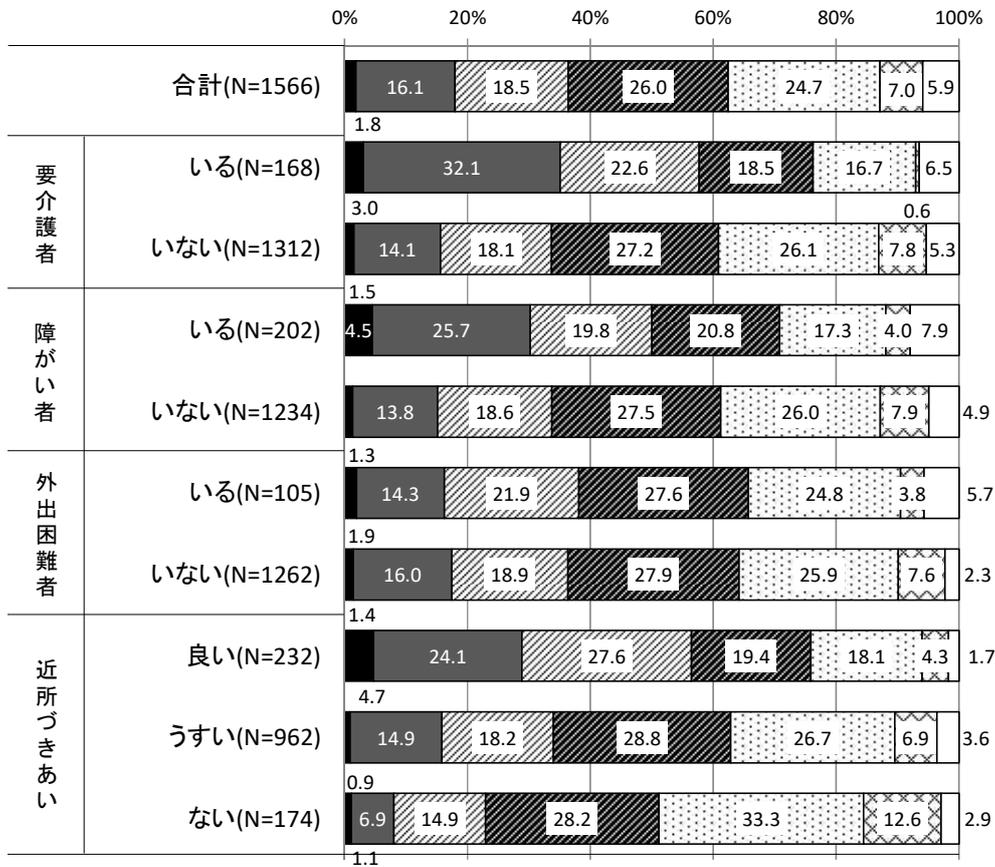
『入手できている』の項目では、「良い」(28.8%)は「ない」(8.0%)より20.8ポイント高くなっています。

問 13 福祉サービスに関する情報の内容は、どの程度入手できていると思われますか。(〇は1つ)



- 十分に入手できていると思う
- ある程度は入手できていると思う
- ▨ あまり入手できていないと思う
- ▨ ほとんど入手できていないと思う
- わからない
- 特に入手する必要がない
- 無回答

図 その他の項目別 福祉サービス情報の入手の程度



- 十分に入手できていると思う
- ある程度は入手できていると思う
- ▨ あまり入手できていないと思う
- ▨ ほとんど入手できていないと思う
- わからない
- ▨ 特に入手する必要がない
- 無回答

問 14 外出困難者(介護を受けている人(介護認定を受けている)、障がいのある人を除く)

【合計】

「いる」(6.7%)、「いない」(80.6%) となっています。

【小学校区】

大きな差はありません。

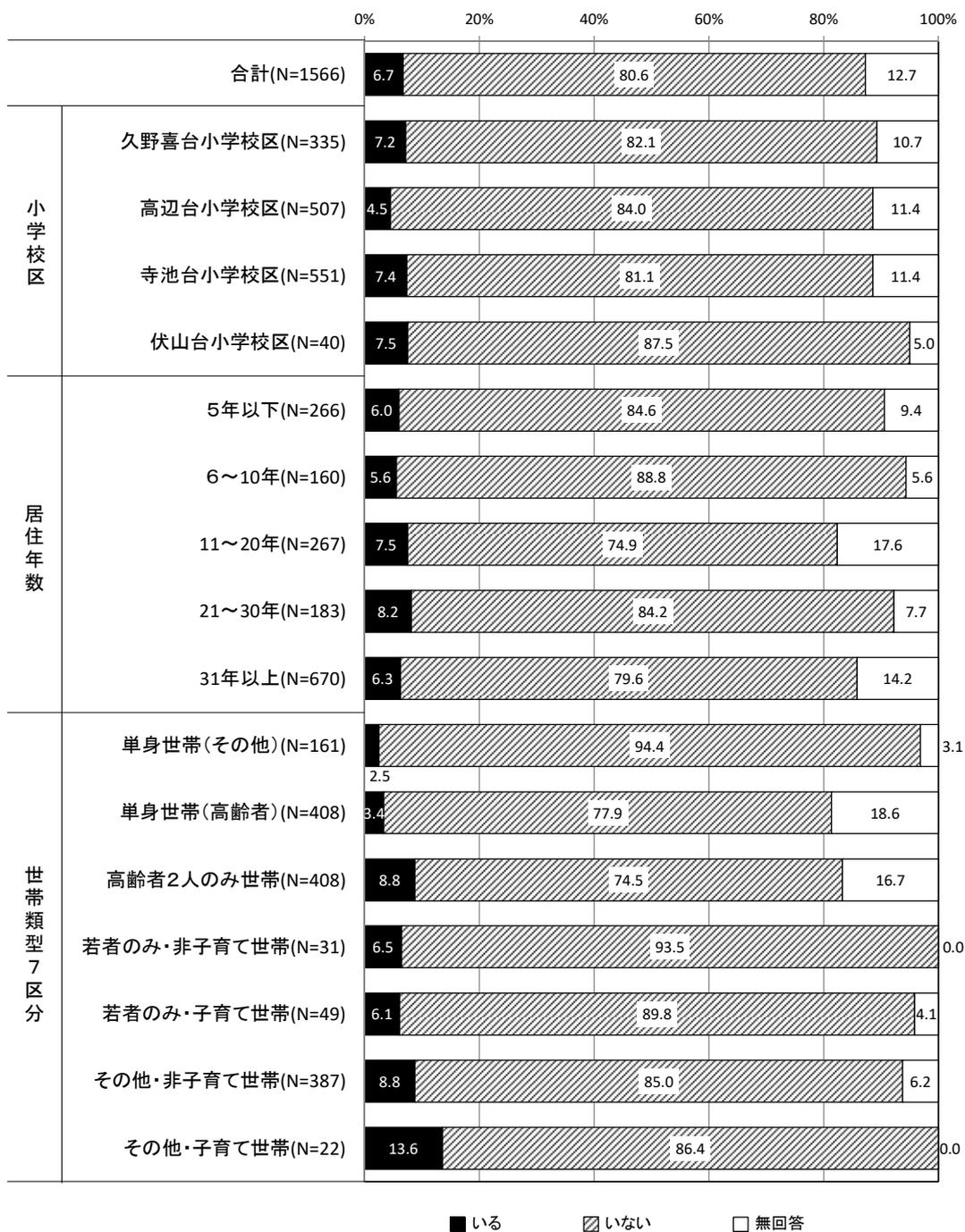
【居住年数】

大きな差はありません。

【世帯類型】

大きな差はありません。

問 14 あなたやご家族のなかに、ほとんど外出しない(週に2回以上外出しない)方はおられますか。但し、介護認定を受けている高齢者や障がいのある人で、外出が困難な方を除きます。(〇は1つ)



問 15 近所づきあいの程度

【合計】

「特に用事が無くても行ききし、困ったときには助け合える人がいる」(7.3%)、「家庭の中までは入らないが、よく行ききする程度の人がある」(7.5%)、「顔が合えば、立ち話をする程度の人がある」(27.8%)、「顔が合えば、あいさつする程度の人しかいない」(33.7%)を合わせた『近所づきあいがある』は76.3%となっています。

【小学校区】

大きな差はありません。

【居住年数】

「特に用事が無くても行ききし、困ったときには助け合える人がいる」、「家庭の中までは入らないが、よく行ききする程度の人がある」、「顔が合えば、立ち話をする程度の人がある」を合わせた『親しい近所づきあいがある』の項目については、居住年数が長くなるにしたがって高くなる傾向がみられます。

【世帯類型】

「特に用事が無くても行ききし、困ったときには助け合える人がいる」と「家庭の中までは入らないが、よく行ききする程度の人がある」を合わせた『近所づきあいが良い』の項目では、「単身世帯(高齢者)」(18.9%)、「高齢者2人のみ世帯」(18.3%)は、他の世帯より高くなっています。

【その他の項目別集計結果】

(介護を受けている人(介護認定を受けている))

「特に用事が無くても行ききし、困ったときには助け合える人がいる」と「家庭の中までは入らないが、よく行ききする程度の人がある」を合わせた『近所づきあいが良い』の項目については、大きな差はありません。

(障がいのある人)

『近所づきあいが良い』の項目については、大きな差はありません。

(外出困難者)

『近所づきあいが良い』の項目については、「いる」(9.5%)は「いない」(15.9%)より6.4ポイント低くなっています。

問 15 あなたやご家族は、ご近所とどの程度のつきあいですか。(○は1つ)

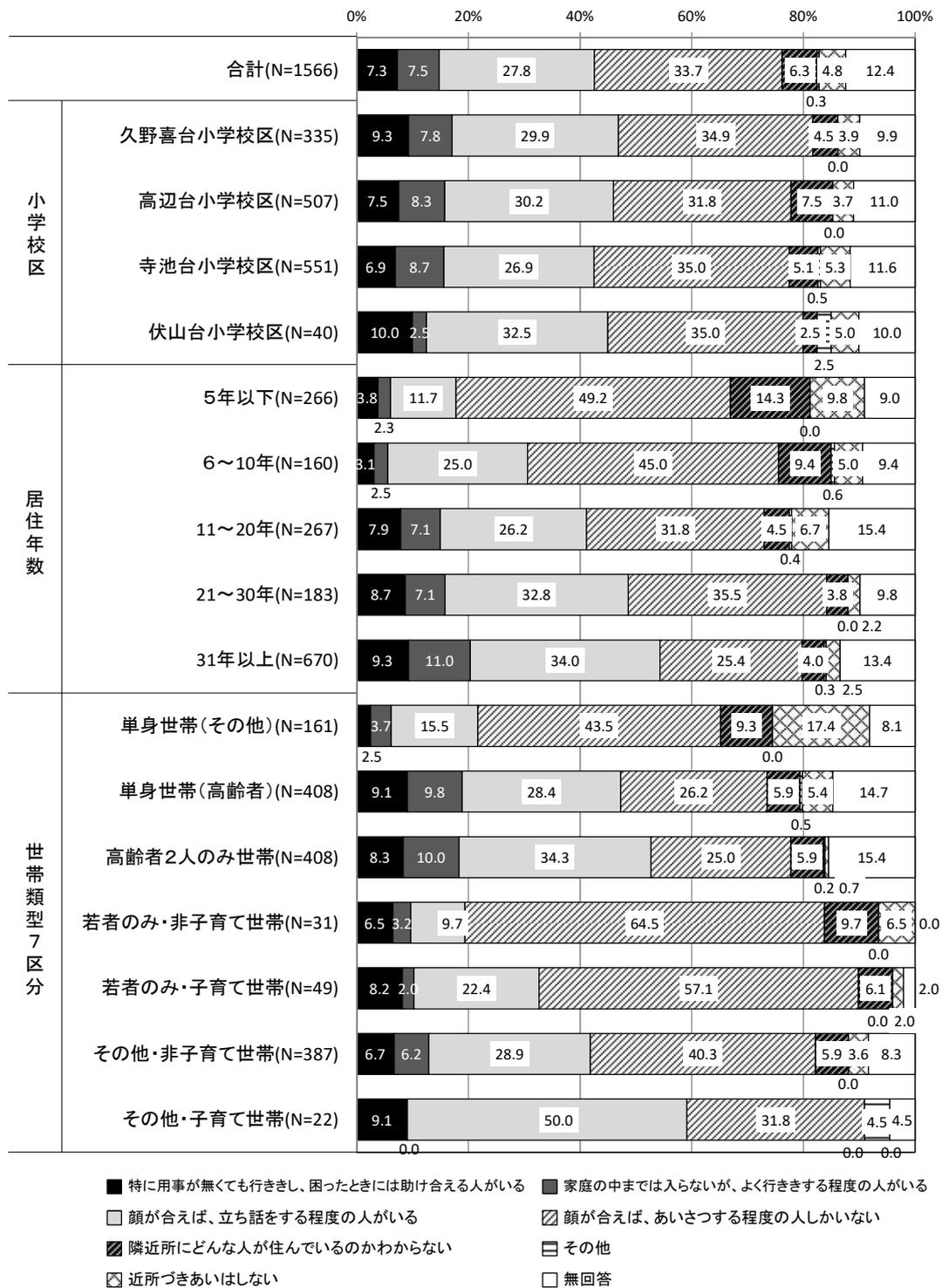
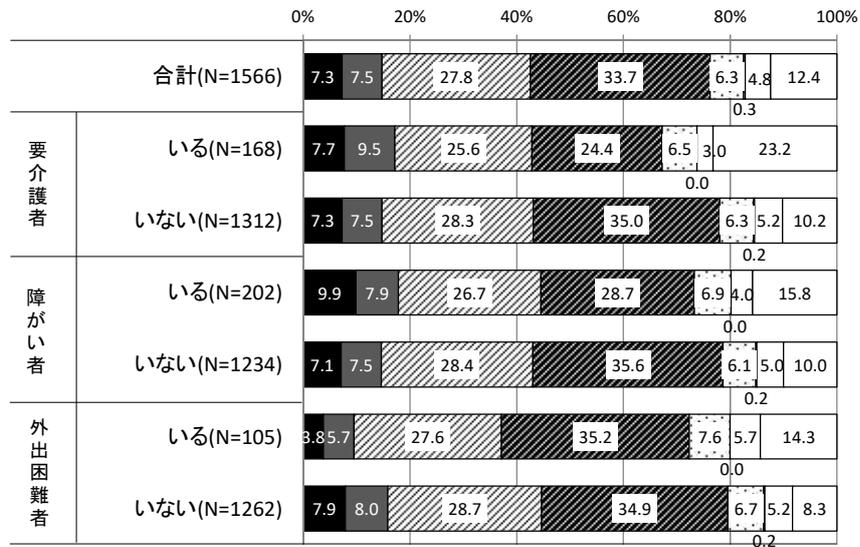


図 その他の項目別 近所づきあいの程度



- 特に用事が無くても行ききし、困ったときには助け合える人がいる
- 家庭の中までは入らないが、よく行ききする程度の人がある
- ▨ 顔が合えば、立ち話をする程度の人がある
- ▨ 顔が合えば、あいさつする程度の人しかいない
- 隣近所にどんな人が住んでいるのかわからない
- その他
- 近所づきあいはしない
- 無回答

問 16 地域活動の参加者

【合計】

「(参加者が) いる」は11.6%となっています。

【小学校区】

大きな差はありません。

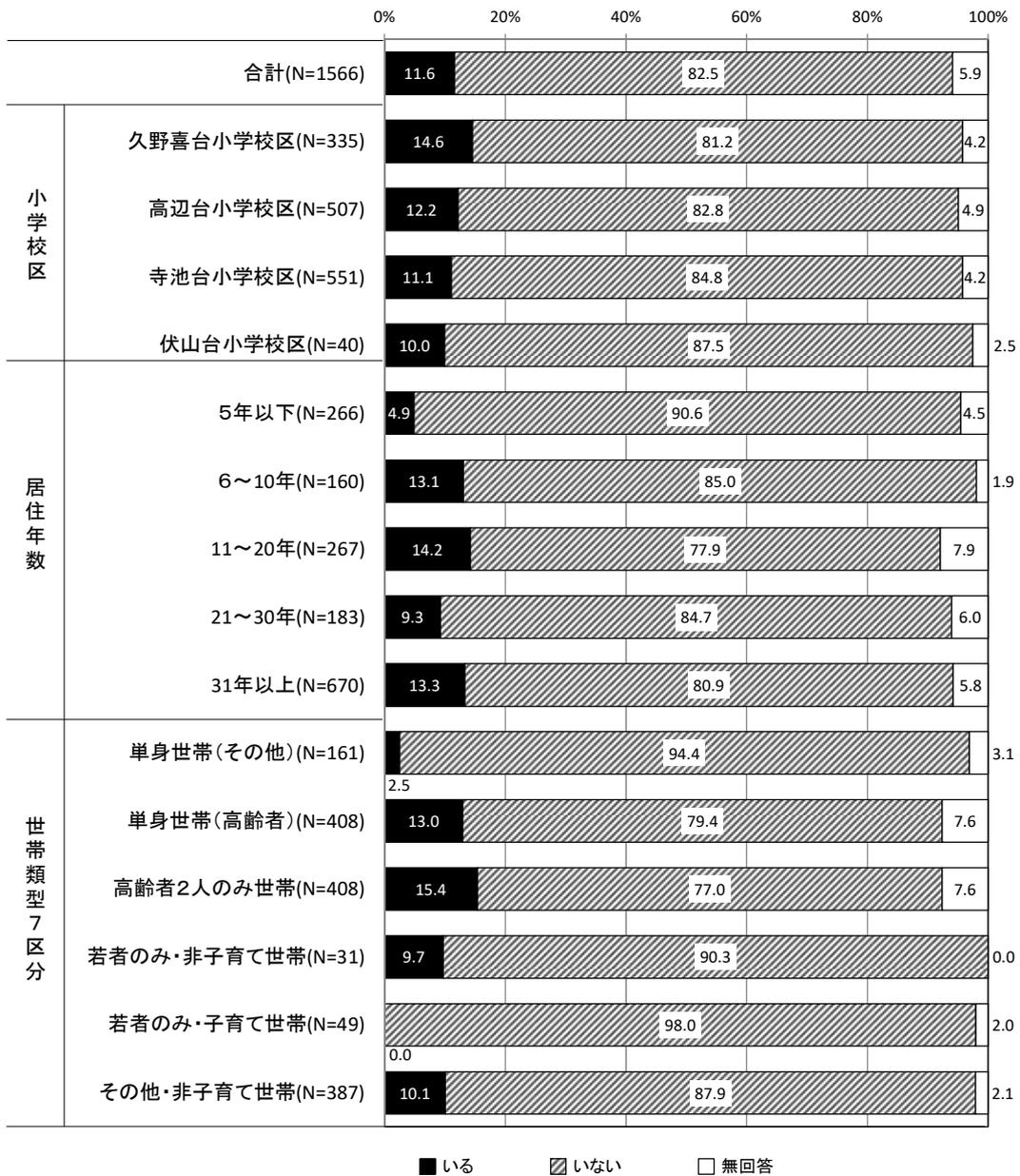
【居住年数】

「いる」の項目については、「5年以下」(4.9%)は他の居住年数より低くなっています。

【世帯類型】

「いる」の項目については、「単身世帯(その他)」(2.5%)、「若者のみ・子育て世帯」(0.0%)は他の世帯より低くなっています。

問 16 あなたやご家族のなかで、地域活動に参加されている方はおられますか。(〇は1つ)



問 16-1 地域活動の内容

【合計】

「趣味やスポーツクラブなどの活動」(39.6%)、「老人クラブ活動」(29.1%)、「地域の祭りやイベント」(20.9%)、「町会・自治会活動」(13.7%)が主な項目となっています。

【小学校区】

「久野喜台小学校区」は「老人クラブ活動」(49.0%)、「高辺台小学校区」は「趣味やスポーツクラブなどの活動」(50.0%)が他の小学校区より高くなっています。

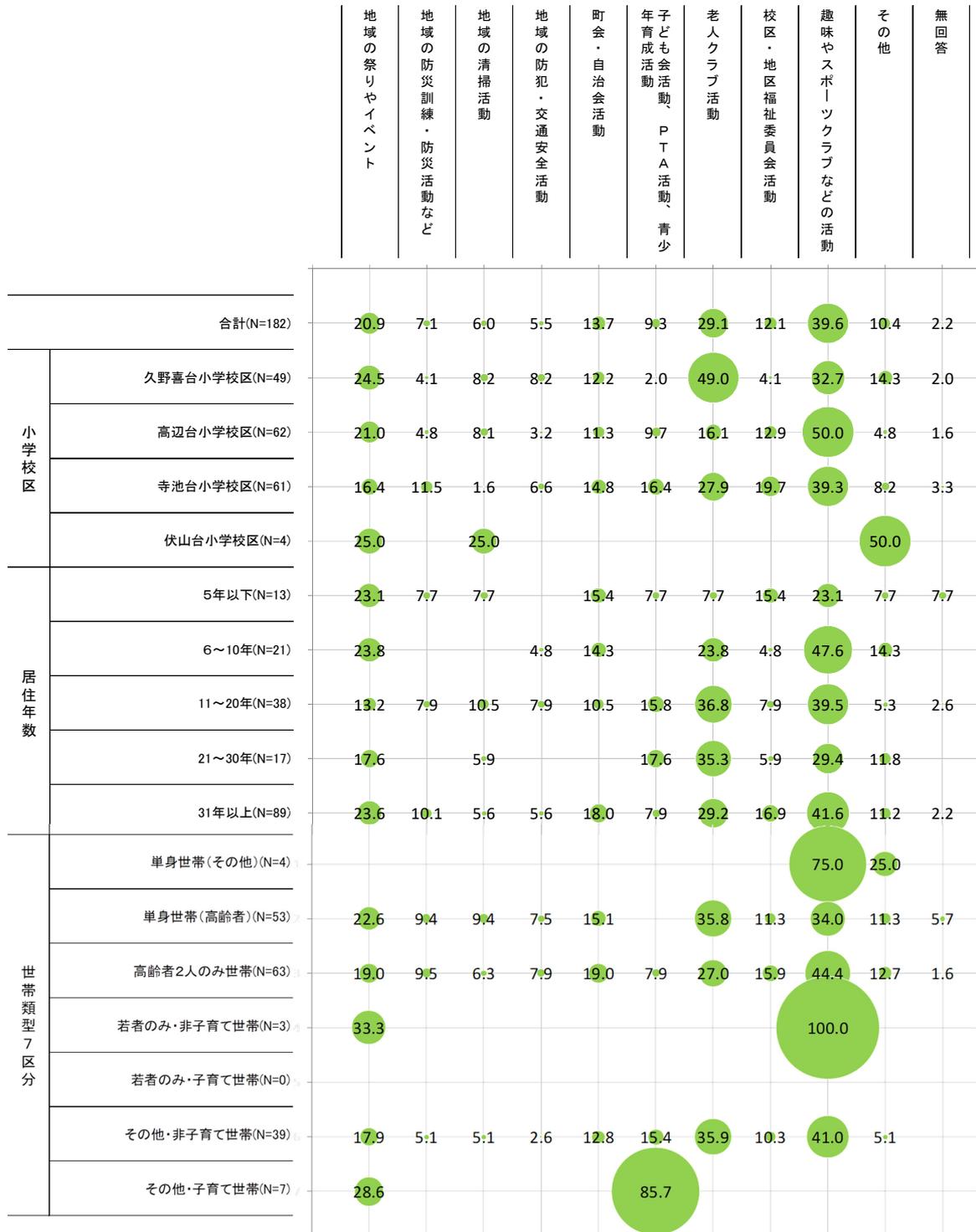
【居住年数】

「老人クラブ活動」の項目については、「11～20年」(36.8%)、「21～30年」(35.3%)が他の居住年数より高く、「趣味やスポーツクラブなどの活動」の項目については「6～10年」(47.6%)、「31年以上」(41.6%)、「11～20年」(39.5%)が他の居住年数より高くなっています。

【世帯類型】

「単身世帯(高齢者)」「高齢者2人のみ世帯」「その他・非子育て世帯」は、「趣味やスポーツクラブなどの活動」、「老人クラブ活動」、「地域の祭りやイベント」、「町会・自治会活動」が主な項目となっています。

問 16-1 どんな地域活動ですか。(〇はいくつでも)



問 17 ボランティア活動の参加者

【合計】

参加者が「いる」は6.6%です。

【小学校区】

大きな差はありません。

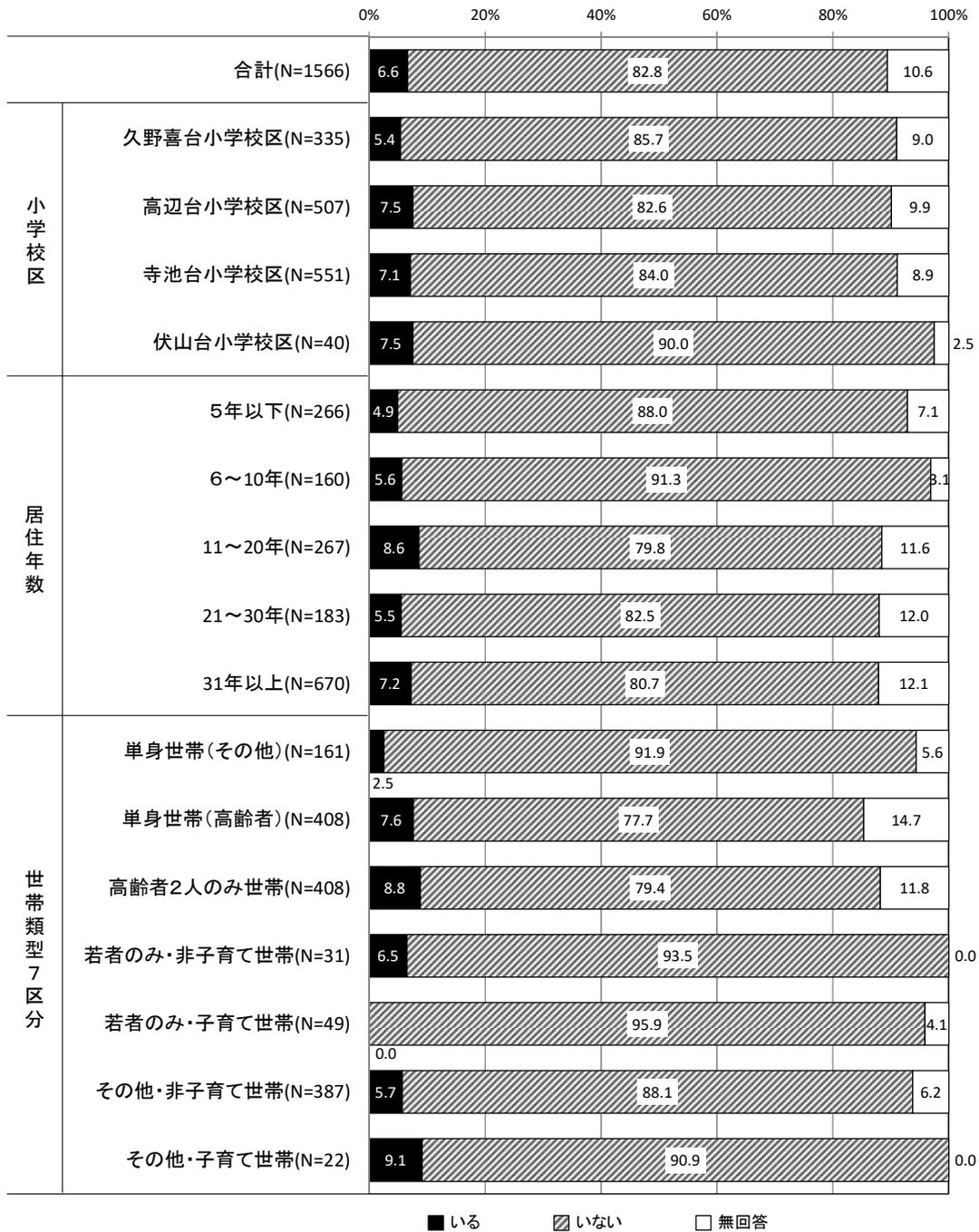
【居住年数】

大きな差はありません。

【世帯類型】

「いる」の項目については、「単身世帯（その他）」(2.5%)、「若者のみ・子育て世帯」(0.0%)は他の世帯より低くなっています。

問 17 あなたやご家族のなかで、ボランティア活動に参加されている方はおられますか。(〇は1つ)



問 17-1 ボランティア活動の内容

【合計】

「高齢者支援に関する活動」(35.6%)、「子育て支援に関する活動」(18.3%)、「その他」(18.3%)、「地域の清掃・美化に関する活動」(16.3%)が主な項目となっています。

【小学校区】

「高齢者支援に関する活動」の項目については、「久野喜台小学校区」(44.4%)は他の小学校区より高くなっています。

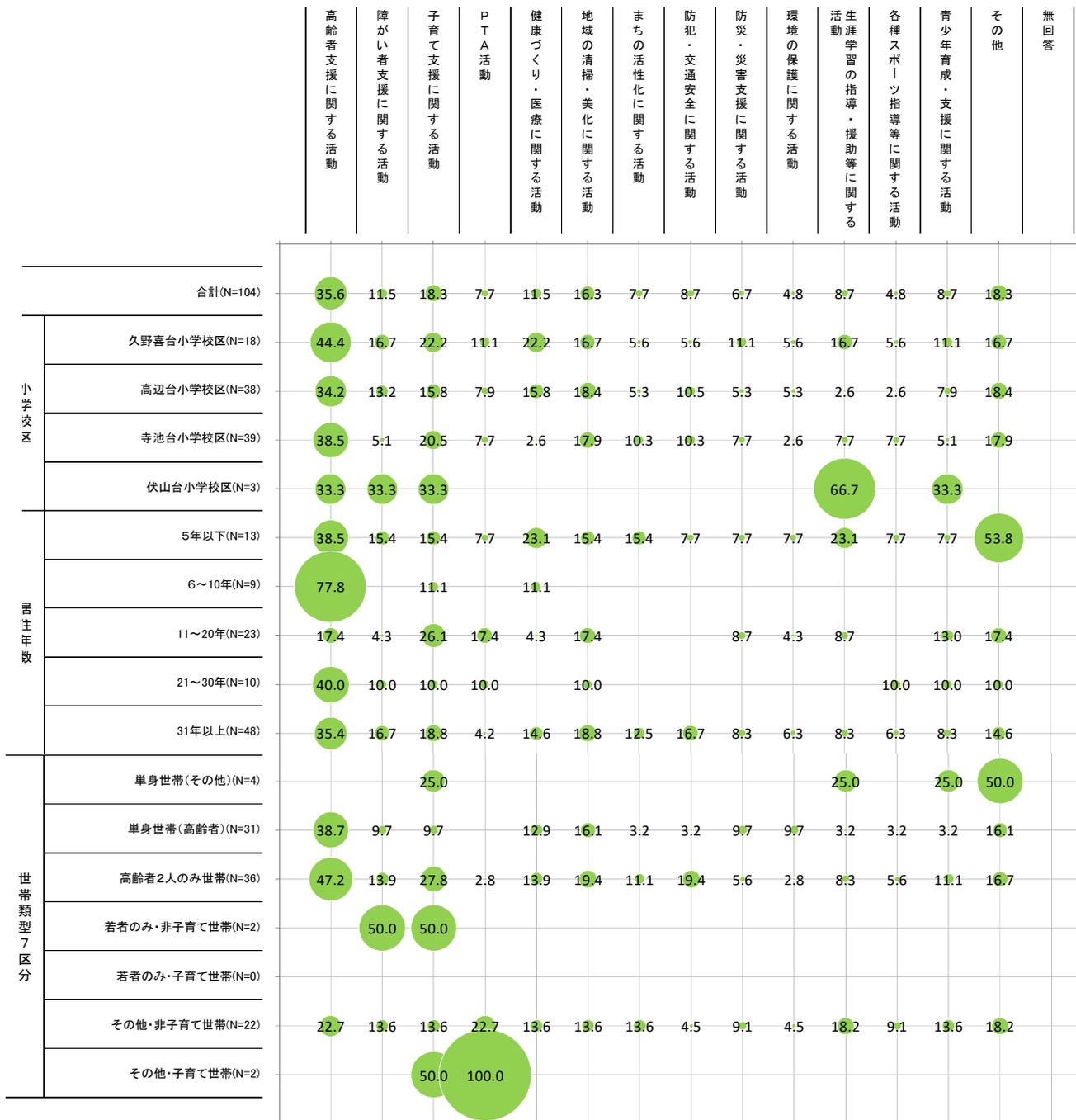
【居住年数】

「高齢者支援に関する活動」の項目については、「6～10年」(77.8%)は他の居住年数より高くなっています。

【世帯類型】

「高齢者支援に関する活動」の項目については、「高齢者2人のみ世帯」(47.2%)、「単身世帯(高齢者)」(38.7%)が他の世帯より高くなっています。

問 17-1 どんなボランティア活動ですか。(〇はいくつでも)



問 18 希望するボランティア活動(複数回答 いくつでも)

【合計】

「安否確認等の声かけ訪問」(12.6%)、「登下校時の子どもの見守り」(11.6%)、「話し相手、心配事の相談相手」(10.5%)、「電球交換など家の中の軽作業」(10.0%)が主な項目となっています。

【小学校区】

大きな差はありません。

【居住年数】

大きな差はありません。

【世帯類型】

「安否確認等の声かけ訪問」、「登下校時の子どもの見守り」、「話し相手、心配事の相談相手」の項目については、「単身世帯(その他)」(18.0%, 14.3%, 13.0%)、「若者のみ・非子育て世帯」(19.4%, 12.9%, 19.4%)、「その他・子育て世帯」(22.7%, 31.8%, 18.2%)が他の世帯より高くなっています。

「子ども食堂の取り組み」の項目については、「その他・子育て世帯」(18.2%)、「若者のみ・子育て世帯」(12.2%)、「単身世帯(その他)」(11.2%)が他の世帯より高くなっています。

問 18 「今後やってみたい」、「やれそうだ」と思うボランティア活動はどれですか。(〇はいくつでも)

		家事の手伝い(掃除、洗濯、食事の支度等)	日曜大工、庭の手入れなど簡単な仕事	電球交換など家の中の軽作業	外出時の付き添い	買い物やペットの散歩	短時間での子どもの預かり	登下校時の子どもの見守り	安否確認等の声かけ訪問	話し相手、心配事の相談相手	子ども食堂の取り組み	高齢者の居場所づくり	その他	無回答
合計(N=1566)		6.4	4.3	10.0	5.6	5.2	2.4	11.6	12.6	10.5	4.7	6.1	7.5	49.0
小学校区	久野喜台小学校区(N=335)	7.5	3.3	8.1	7.8	6.0	3.3	13.4	16.1	13.4	6.0	7.2	6.6	43.6
	高辺台小学校区(N=507)	5.5	3.7	9.1	4.9	4.1	2.4	11.6	11.2	10.1	5.3	6.7	7.3	50.5
	寺池台小学校区(N=551)	6.9	4.4	11.8	4.9	6.5	2.2	11.8	12.2	9.4	3.4	5.4	9.1	47.7
	伏山台小学校区(N=40)	10.0	15.0	12.5	5.0		7.5	12.5	17.5	15.0	7.5	10.0	10.0	35.0
	5年以下(N=266)	6.0	3.0	11.7	5.6	5.6	3.8	11.3	13.5	12.8	8.3	4.1	7.1	43.6
居住年数	6~10年(N=160)	1.9	3.8	10.0	5.0	3.8	3.8	11.9	11.3	13.8	3.8	5.6	7.5	49.4
	11~20年(N=267)	9.0	4.9	10.1	8.2	6.4	1.9	8.6	13.1	10.1	6.7	7.1	8.2	49.1
	21~30年(N=183)	7.7	7.1	12.6	8.7	8.2	2.7	13.1	12.6	9.3	5.5	6.0	7.7	41.0
	31年以上(N=670)	6.4	4.0	8.8	3.9	4.0	1.8	12.2	12.2	9.3	2.4	6.7	7.6	52.8
	単身世帯(その他)(N=161)	8.1	4.3	13.7	8.1	8.1	1.9	14.3	18.0	13.0	11.2	4.3	8.7	33.5
世帯類型7区分	単身世帯(高齢者)(N=408)	5.9	3.9	6.1	4.2	3.2	1.2	9.6	12.3	10.0	4.4	7.1	8.3	55.6
	高齢者2人のみ世帯(N=408)	6.6	5.4	11.0	4.2	4.4	1.5	12.3	13.0	10.5	1.2	8.3	7.8	50.7
	若者のみ・非子育て世帯(N=31)	3.2	3.2	16.1	12.9	22.6	6.5	12.9	19.4	19.4	3.2		6.5	35.5
	若者のみ・子育て世帯(N=49)	8.2		4.1	2.0	2.0	12.2	16.3		8.2	12.2	2.0	4.1	53.1
	その他・非子育て世帯(N=387)	7.0	5.2	11.9	7.5	6.2	3.6	11.1	12.4	9.8	5.2	5.2	7.0	44.4
	その他・子育て世帯(N=22)	13.6		13.6	9.1	9.1		31.8	22.7	18.2	18.2	4.5		31.8

2-3.「増進型地域福祉」の地域づくり

問 19 増進型地域福祉の地域づくり

【合計】

「賛成」(36.9%)、「関心があり、詳しく知りたい」(9.1%)を合わせた『肯定的な意見』は46.0%で、「知らない」10.0%、「反対」(0.4%)と「関心がない」(6.4%)を合わせた『否定的な意見』は6.8%となっています。「わからない」は28.7%となっています。

【小学校区】

『肯定的な意見』については、小学校区別に大きな差はありませんが、「伏山台小学校区」は「わからない」(45.0%)が他の小学校区より高くなっています。

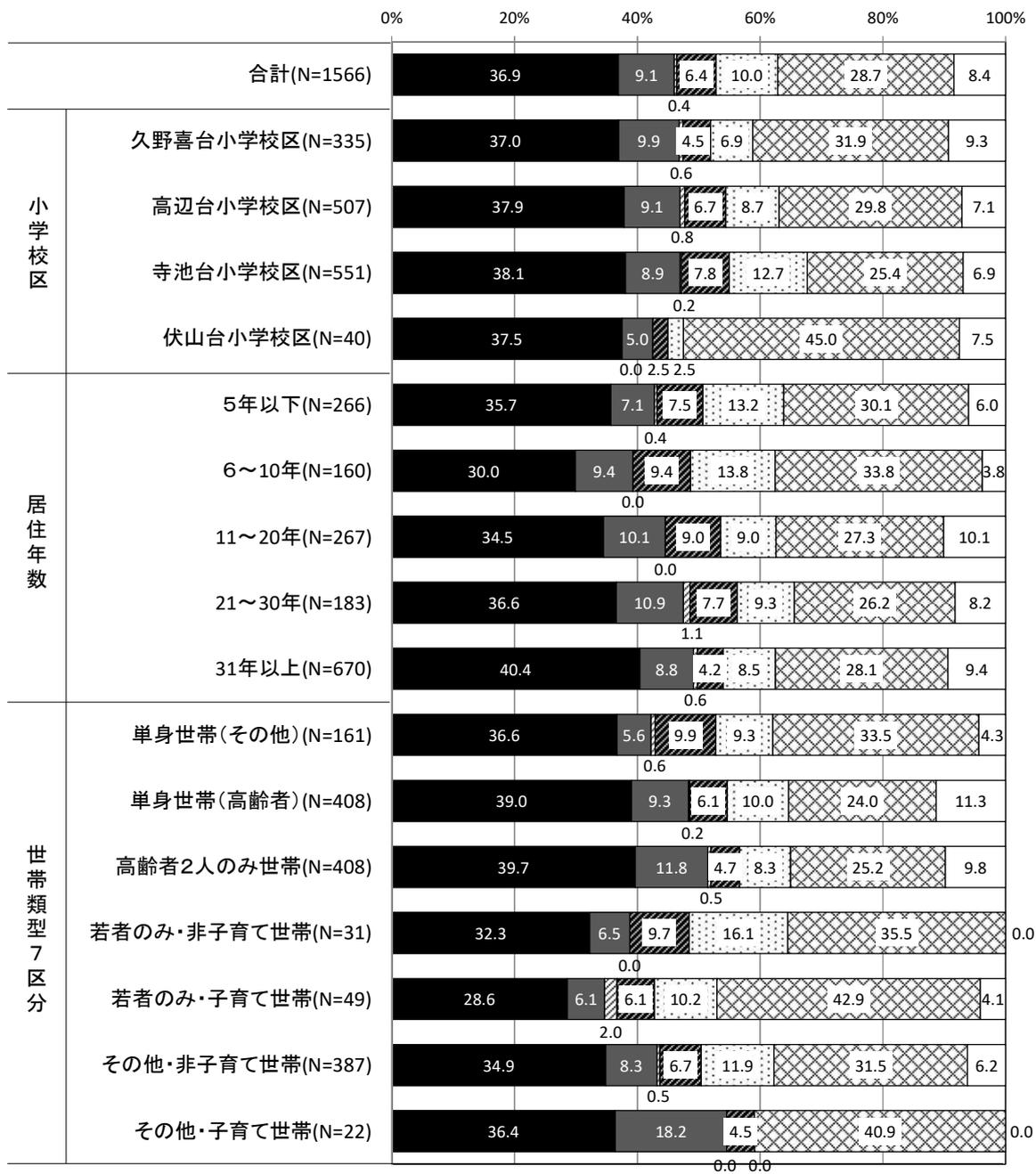
【居住年数】

「賛成」の項目については、おおむね居住年数が長くなるにしたがって高くなる傾向がみられます。

【世帯類型】

「賛成」の項目については、「若者のみ・子育て世帯」(28.6%)、「若者のみ・非子育て世帯」(32.3%)が他の世帯より低くなっています。

問 19 UR金剛団地において、「増進型地域福祉」の地域づくりについてどのように思われますか。



■ 賛成 ■ 関心があり、詳しく知りたい ▨ 反対 ▩ 関心がない □ 知らない ▤ わからない □ 無回答

問 20 理想の地域(複数回答 いくつでも)

【合計】

「高齢者が安心して生活できる地域」(73.6%)、「経済的に困らないで生活できる地域」(47.6%)、「子どもが安心して生活できる地域」(46.6%)、「地域医療・福祉などが充実している地域」(41.6%)、「孤立死、自死(自殺)のない地域」(37.2%)、「障がい者が安心して生活できる地域」(36.5%)が主な項目となっています。

【小学校区】

大きな差はありません。

【居住年数】

「高齢者が安心して生活できる地域」の項目については、居住年数が長くなるにしたがって高くなる傾向がみられます。

【世帯類型】

「高齢者が安心して生活できる地域」の項目については、「高齢者2人のみ世帯」(81.1%)、「単身世帯(高齢者)」(75.0%)、「その他・非子育て世帯」(74.7%)、「その他・子育て世帯」(72.7%)が他の世帯より高くなっています。

「子どもが安心して生活できる地域」の項目については、「若者のみ・子育て世帯」(95.9%)、「その他・子育て世帯」(95.5%)、「若者のみ・非子育て世帯」(83.9%)が他の世帯より高くなっています。

【その他の項目別集計結果】

(介護を受けている人(介護認定を受けている))

「いる」が「いない」より高い項目は、「高齢者が安心して生活できる地域」(79.2%, 72.6% 6.6ポイント高)、「障がい者が安心して生活できる地域」(41.7%, 35.4% 6.3ポイント高)となっています。

(障がいのある人)

「いる」が「いない」より高い項目は、「障がい者が安心して生活できる地域」(62.4%, 33.0% 29.4ポイント高)となっています。

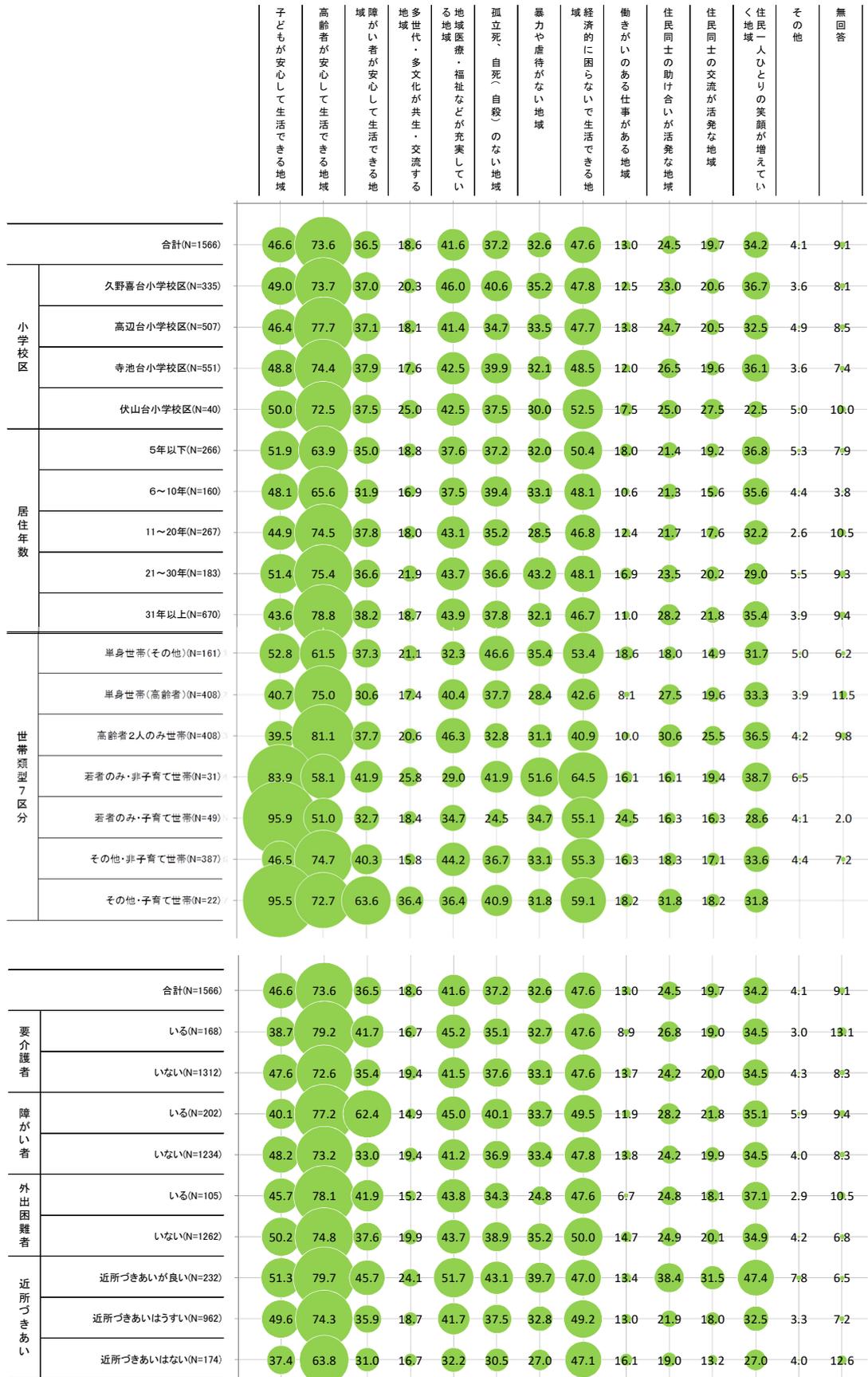
(外出困難者)

大きな差はありません。

(近所づきあい)

「良い」が「ない」より高い項目は、「住民一人ひとりの笑顔が増えていく地域」(47.4%, 27.0% 20.0ポイント高)、「地域医療・福祉などが充実している地域」(51.7%, 32.2% 19.5ポイント高)、「住民同士の交流が活発な地域」(38.4%, 19.0% 19.4ポイント高)、「高齢者が安心して生活できる地域」(79.7%, 63.8% 15.9ポイント高)、「障がい者が安心して生活できる地域」(45.7%, 31.0% 14.7ポイント高)、「子どもが安心して生活できる地域」(51.3%, 37.4% 13.9ポイント高)となっています。

問 20 「増進型地域福祉」の地域づくりで、どのような「理想の地域」を望めますか。
(〇はいくつでも)



問 21 行政の地域福祉サービスの重点(複数回答 いくつでも)

【合計】

「身近な所で気軽に相談できる窓口・人の充実」(45.0%)、「健康や生きがいづくりへの支援」(44.1%)、「福祉サービスに関する情報提供」(35.7%)、「在宅福祉を支えるサービスの充実」(33.3%)が主な項目となっています。

【小学校区】

「身近な所で気軽に相談できる窓口・人の充実」、「在宅福祉を支えるサービスの充実」の項目については、「伏山台小学校区」(55.0% 40.0%)が他の小学校区より高くなっています。

【居住年数】

「在宅福祉を支えるサービスの充実」の項目については、居住年数が長いほど高くなる傾向がみられます。

【世帯類型】

「幼稚園・学校などにおける福祉教育の充実」の項目については、「若者のみ・子育て世帯」(75.5%)、「その他・子育て世帯」(54.5%)、「若者のみ・非子育て世帯」(51.6%)は、他の世帯より高くなっています。

【その他の項目別集計結果】

(介護を受けている人(介護認定を受けている))

「いる」が「いない」より高い項目は、「在宅福祉を支えるサービスの充実」(44.0%, 32.2% 11.8ポイント高)となっています。

(障がいのある人)

「いる」が「いない」より高い項目は、「在宅福祉を支えるサービスの充実」(39.1%, 32.3% 6.8ポイント高)、「福祉サービスに関する情報提供」(41.1%, 34.9% 6.2ポイント高)となっています。

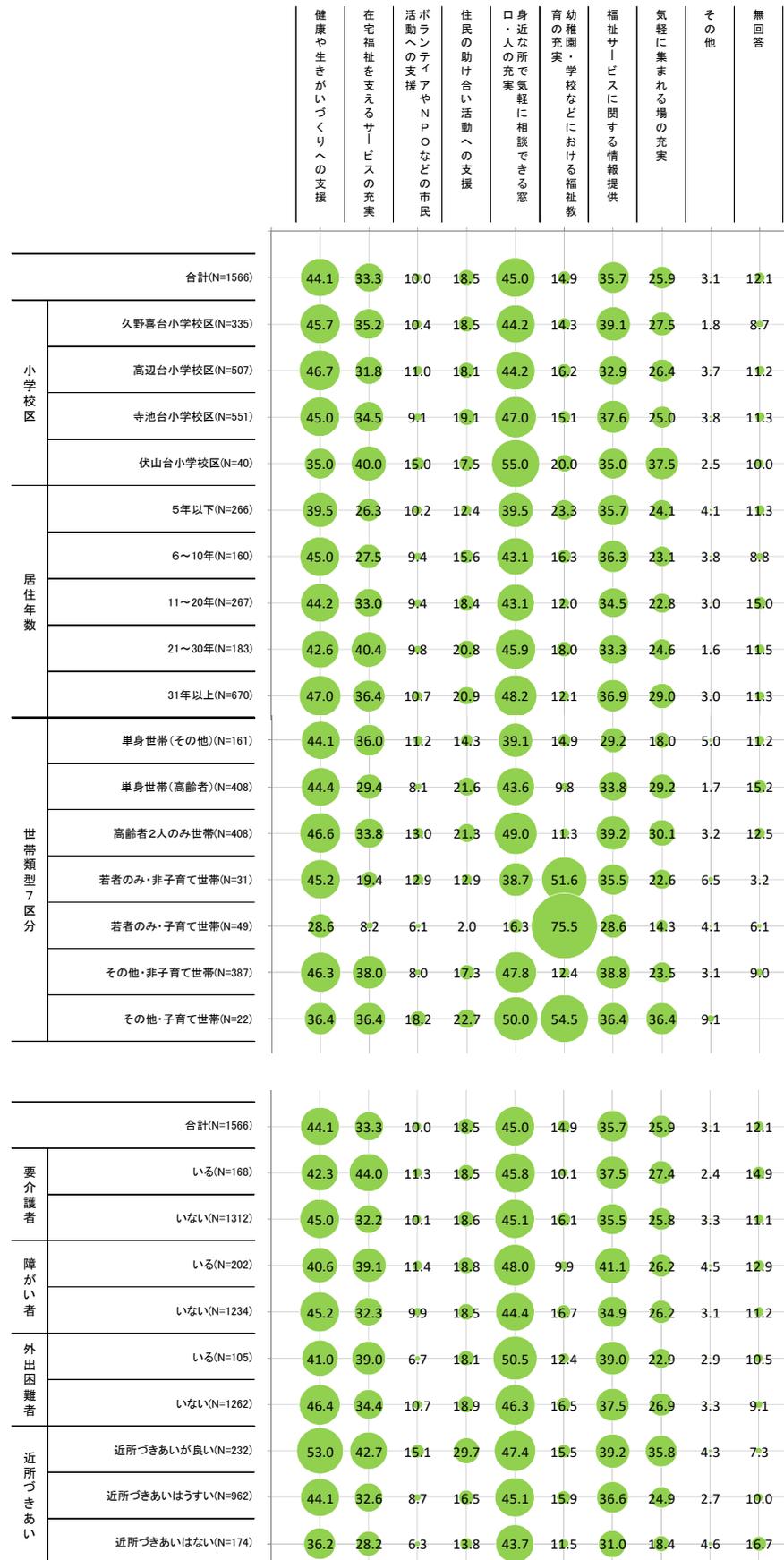
(外出困難者)

大きな差はありません。

(近所づきあい)

「良い」が「ない」より高い項目は、「気軽に集まれる場の充実」(35.8%, 18.4% 17.4ポイント高)、「健康や生きがいづくりへの支援」(53.0%, 36.2% 16.8ポイント高)、「在宅福祉を支えるサービスの充実」(42.7%, 28.2% 14.5ポイント高)、「福祉サービスに関する情報提供」(39.2%, 31.0% 8.2ポイント高)となっています。

問 21 行政の地域福祉サービスで、力を入れるべきと思われることは何ですか。(〇はいくつでも)



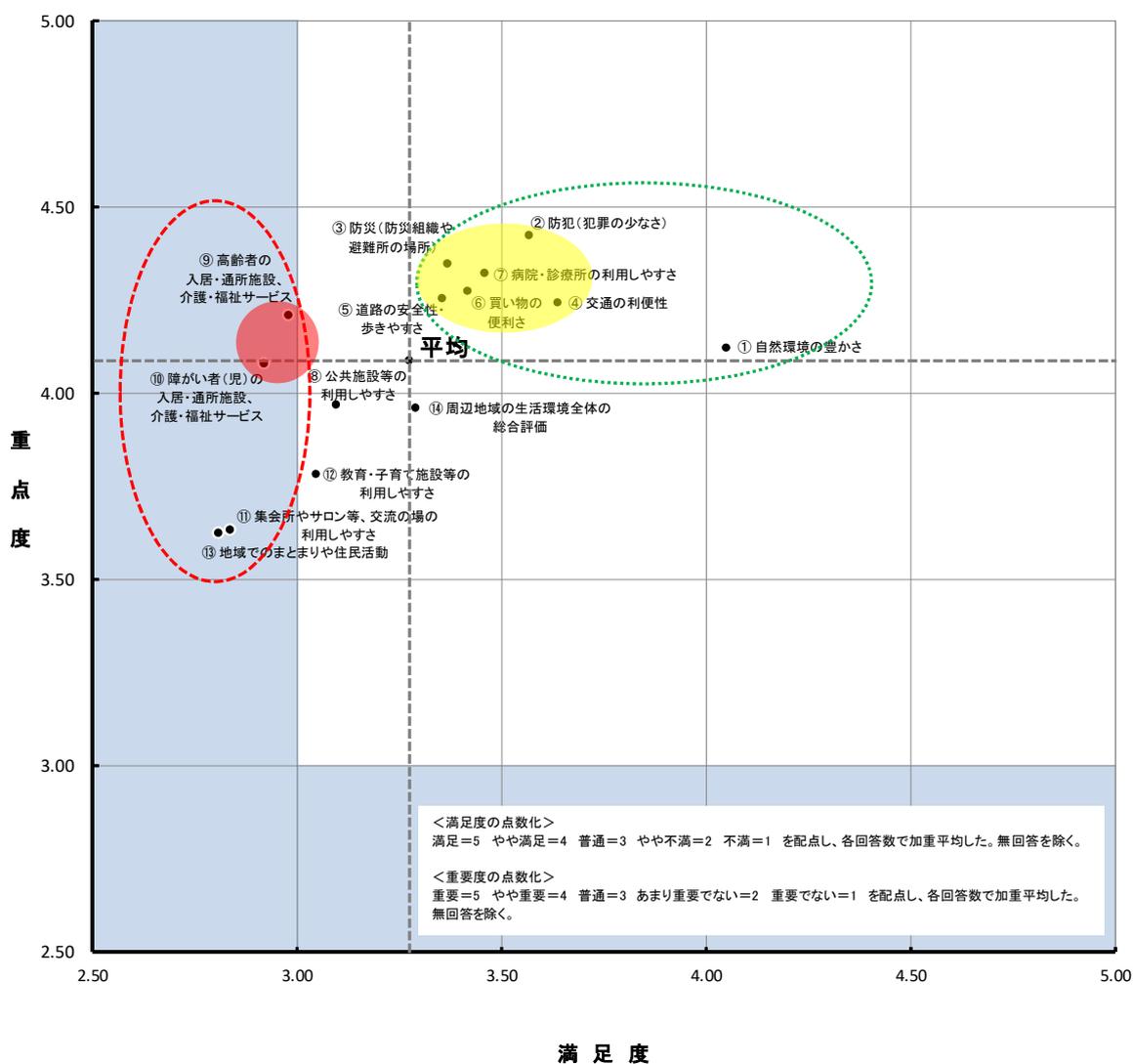
2-4. 集計結果の分析

1) 生活環境の項目別の「現在の満足度」と「今後の重要度」の分析

現在の満足度では、「① 自然環境の豊かさ」「④ 交通の利便性」「② 防犯（犯罪の少なさ）」「⑦ 病院・診療所の利用しやすさ」「⑥ 買い物の便利さ」「③ 防災（防災組織や避難所の場所）」「⑤ 道路の安全性・歩きやすさ」の項目は平均点より高く、また、今後の重要度でも平均点を超えており、今後も生活環境の要素として維持向上が期待されています。

また、現在の満足度の評価で平均点より低いのが、今後の重要度が平均点より高い項目は市民のニーズと行政サービスが大きく乖離している状況であるので、今後、行政が取り組むべき重要課題といえます。

図 現在の満足度と今後の重要度 点数（1～5）の加重平均



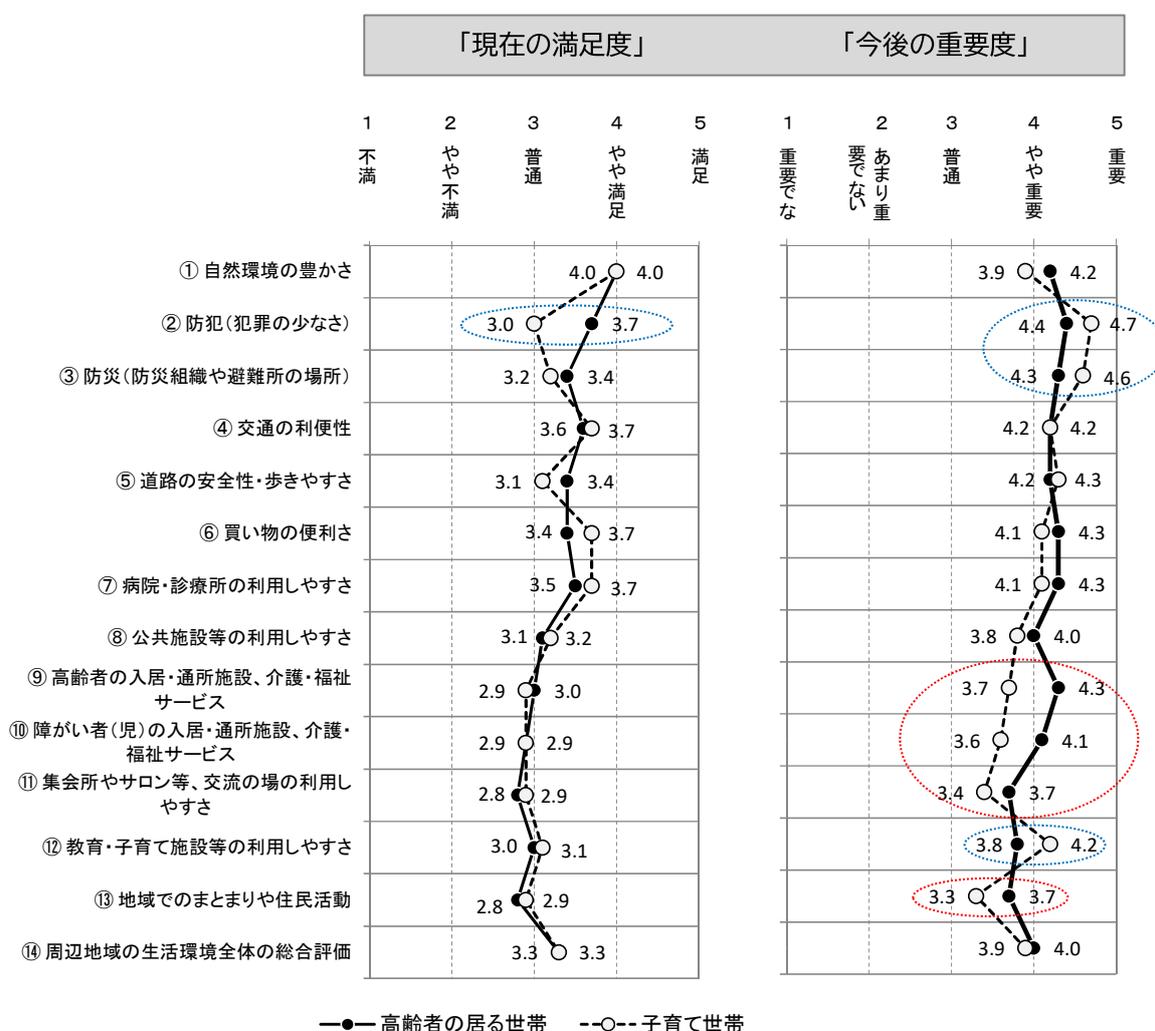
2) 高齢者の居る世帯と子育て世帯の生活環境の「現在の満足度」と「今後の重要度」

現在の満足度の評価では、「②防犯（犯罪の少なさ）」の項目は子育て世帯（3.0点）と高齢者の居る世帯（3.7点）とでは0.7点の差がみられますが、他の項目は大きな差がみられません。

しかし、今後の重要度の評価では、「⑨高齢者の入居・通所施設、介護・福祉サービス」、「⑩障がい者（児）の入居・通所施設、介護・福祉サービス」、「⑪集会所やサロン等、交流の場の利用しやすさ」、「⑬地域でのまとまりや住民活動」の項目は、高齢者の居る世帯の方が子育て世帯より高くなっています。

また、「⑫教育・子育て施設等の利用しやすさ」、「②防犯（犯罪の少なさ）」、「③防災（防災組織や避難所の場所）」の項目は、子育て世帯の方が高齢者の居る世帯はより高くなっています。

このように、将来の課題については、子育て世帯と高齢者の居る世帯とでは違いがみられるので、今後の行政施策の検討においては留意する必要があります。



2-5. まとめ

【世帯構成】

UR金剛団地の世帯構成は、『高齢者を含む世帯』（「単身高齢者世帯」+「高齢者2人世帯」+「高齢者を含むその他世帯」）67.4%、「高齢者を含まない世帯」26.2%で、高齢化が顕著な団地です。特に、『高齢者のみ世帯』（「単身高齢世帯」+「高齢2人世帯」）は52.2%あり、同居親族等のサポートが難しい世帯に対して、病気・事故、災害時の避難などで円滑な対応が出来ないことが危惧されます。

また、人口の中心である高齢者の減少が進めば、地域コミュニティの崩壊や地域活力の低下が予想されますが、現状は「子育て世帯」（4.5%）が少ない少子高齢化地域であり、「若者世帯」や「子育て世帯」の定住化や移住促進による人口増加の取り組みが期待されます。

【団地の居住理由と定住意向】

居住理由についてみると、「家賃が手ごろだったから」では、居住歴「30年以下」（56.3～66.5%）が「31年以上」（42.5%）より高く、「周辺の居住環境が良かったから」では、「31年以上」（44.6%）の方が「30年以下」（24.1～30.6%）より高く、居住歴「30年以下」と「31年以上」では顕著な差がみられます。

また、「若者のみ世帯」や「その他の子育て世帯」では「近くに親や親せきがいるから」が他の世帯より高くなっており、「若者のみ世帯」や「その他の子育て世帯」は近隣からの世帯分離などが考えられます。

団地の定住意向は、全体で65.8%ですが、「若者のみ・子育て世帯」（51.0%）、「その他・子育て世帯」（59.1%）、「若者のみ・非子育て世帯」（61.3%）はやや低く、若者や子育て世帯では定住化の動機付けが弱くなっていると思われます。

【地域コミュニティ】

「暮らしの中で不安や悩みを抱えたときの相談先」の「友人・知人」の項目では、「近所づきあいが良い」は57.8%に対して「近所づきあいはない」は39.1%であり、近所づきあいの程度と地域での孤立化が関連していると思われます。

例えば、「福祉サービス情報の入手の程度」の『入手できている』（「十分に入手できていると思う」+「ある程度は入手できていると思う」）の項目では、「近所づきあいが良い」は28.8%、「近所づきあいがやすい」は15.8%、「近所づきあいはない」は8.0%と近所づきあいの程度が低下するにしたがって情報の入手の程度は低下しており、地域コミュニティ醸成のために地域住民相互のつながりづくりを考えていく必要があります。

【「増進型地域福祉」の地域づくり】

「増進型地域福祉」の地域づくりに対する『肯定的な意見』（「賛成」+「関心があり、詳しく知りたい」）（46.0%）に対して、『否定的な意見』（「反対」+「関心がない」）（6.8%）は少なく、「知らない」+「わからない」は38.7%あり、「増進型地域福祉」の地域づくり

の周知と理解の取り組みが期待されます。

特に、「若者のみ・子育て世帯」(34.7%)、「若者のみ・非子育て世帯」(38.8%)では『肯定的な意見』が低く、定住化・移住促進の観点からも若者や子育て世帯に対する重点的な取り組みが必要と思われます。

【理想の地域】

「高齢者が安心して生活できる地域」(73.6%)、「経済的に困らないで生活できる地域」(47.6%)、「子どもが安心して生活できる地域」(46.6%)「地域医療・福祉などが充実している地域」(41.6%)、「障がい者が安心して生活できる地域」(36.5%)が主な項目となっています。

「若者のみ・子育て世帯」、「その他・子育て世帯」、「若者のみ・非子育て世帯」では、「子どもが安心して生活できる地域」(95.9% 95.5% 83.9%)が最も望まれており、子どもや若者人口の増加による団地の活性化のために「子どもが安心して生活できる地域」も理想の地域として同時に目指していくことが必要と思われます。

資料編

1. 調査票

UR金剛団地にお住いの皆さまへ向けたアンケート調査

—ご協力のお願い—

幸せはみんなでつくる！

「増進型地域福祉づくり」

～ 一人ひとりがその人らしい生き方を実現することのできる富田林 ～

UR金剛団地にお住いの皆さまには、日頃から市政全般にご協力をいただき、ありがとうございます。

金剛団地は「まち開き」から約50年経過し、近隣関係やコミュニティが培われてきましたが、現在、住民の高齢化、若年者や子育て世代の減少、居住環境の変化など様々な課題があり、それらに対応した新たな地域づくりを進める必要性が高まっています。

UR金剛団地にお住いの皆さまとともに地域の生活環境を改善し、今後幸せに満ちた「まち」を実現するためにはどのような問題や課題があり、どのような理想の地域像が求められているのかなどを把握するため、本アンケート調査を実施することとなりました。

つきましては、調査にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和元年12月

富田林市長 吉村 善美

【ご記入のお願い】

- このアンケート調査は、UR金剛団地に居住されている世帯の皆さまを対象に実施しております。
- 世帯主様宛となっておりますが、世帯を対象としておりますのでご家族と相談しながらご記入ください。ご回答いただきました内容につきましては、本調査の目的以外に使用することは一切ありませんので、よろしくお願い致します。
- 選択肢の設問は、あてはまる番号を○印で囲んでください。また、「その他」と回答された場合や自由に記入していただく欄には、なるべく具体的にお書きください。
- 記入後は、無記名のまま、同封の返信用封筒（調査受託機関 株式会社都市設計総合研究所 行）に入れて、令和元年12月24日（火）までにご投函ください。（切手は不要です。）

（本調査についてのお問い合わせ）

富田林市役所 市長公室 情報公開課
電話 0721-25-1000（内線181）

1 ご家族とお住まいについて

問1 あなたを含め同居されているご家族全員の人数と年齢別人数を（ ）内にご記入ください。

1) あなたを含め同居されているご家族の人数 ()人

2) あなたを含め同居されているご家族全員の年齢階層別人数

① 0～2歳 ()人	⑦ 30～34歳 ()人	⑬ 60～64歳 ()人
② 3～5歳 ()人	⑧ 35～39歳 ()人	⑭ 65～69歳 ()人
③ 6～11歳 ()人	⑨ 40～44歳 ()人	⑮ 70～74歳 ()人
④ 12～19歳 ()人	⑩ 45～49歳 ()人	⑯ 75～79歳 ()人
⑤ 20～24歳 ()人	⑪ 50～54歳 ()人	⑰ 80～84歳 ()人
⑥ 25～29歳 ()人	⑫ 55～59歳 ()人	⑱ 85歳以上 ()人

3) あなたを含め同居されているご家族の中に、介護を受けている人（介護認定を受けている）や障がいのある人はおられますか。人数もご記入ください。（設問①②とも、〇は1つ）

① 介護を受けている人

1. いる ()人

2. いない

② 障がいのある人

1. いる ()人

2. いない

問2 ご家族はUR金剛団地に住んで何年になりますか。（〇は1つ）

1. 2年未満

4. 11～15年

7. 26～30年

2. 2～5年

5. 16～20年

8. 31年以上

3. 6～10年

6. 21～25年

問3 UR金剛団地を選ばれた理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 家賃が手ごろだったから

8. 教育環境が整っているから

2. 住宅の設備や間取りが良かったから

9. 子育て支援が充実しているから

3. 交通の利便が良いから

10. 近くに親や親せきがいるから

4. 商業施設や医療施設などが近いから

11. 職場に近いから

5. 団地のデザインや配置がよかったから

12. その他

6. 周辺の住環境が良かったから

(具体的に

)

7. 周辺の自然環境が良かったから

問4 あなたやご家族は、お住いの地域に対して、愛着を感じていますか。（〇は1つ）

1. 大変愛着を感じている

3. あまり愛着を感じていない

2. 少し愛着を感じている

4. まったく愛着を感じていない

問5 UR金剛団地の周辺地域の生活環境はどう思われますか。「1）現在の満足度」と「2）今後の重要度」をおたずねします。（以下の①～⑭の項目で、あてはまる番号に○）

項 目	1) 現在の満足度					2) 今後の重要度				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	重要	やや重要	普通	重要でない あまり	重要でない
① 自然環境の豊かさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 防犯（犯罪の少なさ）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 防災（防災組織や避難所の場所）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 交通の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 道路の安全性・歩きやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥ 買い物の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦ 病院・診療所の利用しやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧ 公共施設等の利用しやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨ 高齢者の入居・通所施設、介護・福祉サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩ 障がい者（児）の入居・通所施設、介護・福祉サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑪ 集会所やサロン等、交流の場の利用しやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑫ 教育・子育て施設等の利用しやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑬ 地域でのまとまりや住民活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑭ 周辺地域の生活環境全体の総合評価	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問6 UR金剛団地の周辺地域で不足していると思われる施設・サービスはありますか。（○はいくつでも）

1. ショッピングセンター	8. 高齢者の入居・通所施設、医療・介護・福祉サービス
2. 飲食店	9. 障がい者（児）の入居・通所施設、介護・福祉サービス
3. コンビニエンスストア	10. 子育て支援の施設やサービス
4. 若者世帯向け住宅	11. 医院や薬局など身近な医療施設
5. コミュニティセンター（集会所）	12. その他
6. 高齢者等の憩いの場	（具体的に
7. 子どもの遊び場	）

問6-1 問6で「8 高齢者の入居・通所施設、医療・介護・福祉サービス」を選択された方におたずねします。どのような施設やサービスですか。（○はいくつでも）

1. 特別養護老人ホームやサービス付き高齢者住宅など	8. 安否確認
2. デイサービス	9. 家事・買物代行
3. 在宅診療	10. 外出支援
4. 訪問介護	11. 食事宅配
5. ショートステイ	12. 訪問理容・美容
6. 訪問看護	13. その他
7. 緊急時かけつけ	（具体的に
	）

問6-2 問6で「10 子育て支援の施設やサービス」を選択された方におたずねします。どのような施設やサービスですか。(〇はいくつでも)

1. 保育所	7. 病児保育・病後児保育が可能な保育所
2. 幼稚園	8. 学童保育施設
3. 子育て世代の交流スペース	9. 地域との連携による子育てサポート
4. 多世代の交流スペース	10. 学習塾等の民間教育施設
5. 一時保育・託児所	11. その他
6. 長時間・夜間保育	(具体的に)

問7 ご家族はUR金剛団地に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 引き続きUR金剛団地に住み続けたい	4. その他
2. 団地から富田林市内に転居したい又は転居する	(具体的に)
3. 団地から富田林市外に転出したい又は転出する	5. 何も決めていない

問7-1 問7で「2 団地から富田林市内に転居したい又は転居する」、「3 団地から富田林市外に転出したい又は転出する」を選ばれた方におたずねします。転居、転出の理由は何ですか。該当する項目の()内に〇をつけてください。(〇はいくつでも)

理 由	1) 市内に転居したい又は転居する	2) 市外に転出したい又は転出する
1 子どもが生まれ住宅が手狭になったから	()	()
2 親等が同居して住宅が手狭になったから	()	()
3 住宅を購入したから	()	()
4 転勤、転職のため	()	()
5 両親や親せきの近くに住む必要があるから	()	()
6 家族の介護や世話をする(受ける)必要があるから	()	()
7 教育・子育て環境に不満があるから	()	()
8 近所づきあいがわずらわしいから	()	()
9 自分や家族の通勤・通学などに不便だから	()	()
10 買い物や余暇活動に不便だから	()	()
11 家賃や物価が高いから	()	()
12 医療機関や福祉施設が整っていないから	()	()
13 住環境に不満があるから	()	()
14 自然環境や景観に不満があるから	()	()
15 都市のイメージに不満があるから	()	()
16 故郷に戻りたいから	()	()
17 その他(具体的に)	()	()
18 特に理由はない	()	()

2 地域コミュニティについて

問8 あなたやご家族は、日々の暮らしの中で、不安や悩みを感じていますか。困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 健康のこと | 12. 友人や話し相手がいないこと |
| 2. 老後のこと | 13. 暴力や虐待のこと |
| 3. 仕事のこと | 14. 差別や人権侵害のこと |
| 4. 子育てに関すること | 15. 家計や経済的なこと |
| 5. 子どもの教育や将来のこと | 16. 地域・隣近所の人間関係 |
| 6. 看護や介護のこと | 17. 地域の安全(防犯、交通安全等)のこと |
| 7. ひきこもりに関すること | 18. 災害への備えや避難に関すること |
| 8. 電球交換など家の中の軽作業のこと | 19. その他 |
| 9. 買物・通院などの移動手段に関すること | (具体的に) |
| 10. 食事・ゴミ出しなど日常生活のこと | 20. 特に悩みや不安は感じていない |
| 11. 看病や世話をしてくれる人がいないこと | |

問8-1 あなたやご家族は、日々の暮らしの中で、不安や悩みを抱えたとき、どこに相談しますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 家族、親族 | 10. ケアマネージャーなど介護関係者 |
| 2. 友人、知人 | 11. コミュニティソーシャルワーカー(CSW) |
| 3. 職場の上司、同僚など | 12. 病院や開業医など |
| 4. 隣近所の人、町内会・自治会の役員など | 13. NPO、ボランティア団体 |
| 5. 民生委員・児童委員 | 14. その他 |
| 6. 校区・地区福祉委員 | (具体的に) |
| 7. 市役所等行政機関 | 15. 相談する人がいない |
| 8. 地域包括支援センター(ほんわかセンター) | 16. 相談する機関などがわからない |
| 9. 社会福祉協議会 | 17. どこにも相談したくない |

問9 あなたやご家族は、地域を担当している「民生委員・児童委員」について、どの程度知っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 顔も名前も知っている | 4. だれが担当なのかわからない |
| 2. 顔はわからないが、名前は知っている | 5. 民生委員・児童委員の制度を知らない |
| 3. 顔はわかるが、名前は知らない | |

問10 お住いの地域の小学校区はどちらですか。(〇は1つ)

- | | | |
|-------------|------------|----------|
| 1. 久野喜台小学校区 | 3. 寺池台小学校区 | 5. わからない |
| 2. 高辺台小学校区 | 4. 伏山台小学校区 | |

問11 お住いの地域の「校区・地区福祉委員会」について、どの程度知っていますか。(〇は1つ)

1. 活動内容も福祉委員の名前も知っている
2. 活動内容も福祉委員の名前も少しは知っている
3. 校区・地区福祉委員会の名称を聞いたことはあるが、活動内容は知らない
4. 地域に校区・地区福祉委員会はない
5. 校区・地区福祉委員会について何も知らない

問12 あなたやご家族は、行政、福祉施設、NPO・ボランティア団体等が行っている福祉サービスに関する情報を主にどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

1. 家族、友人、知人
2. 地域の民生委員・児童委員、地区・校区福祉委員など
3. 地域包括支援センター(ほんわかセンター)、ケアマネージャー、コミュニティソーシャルワーカー等の福祉の専門職
4. 市の広報誌や窓口
5. 社会福祉協議会の広報誌や窓口
6. 隣近所や町会・自治会の回覧板・掲示板
7. 新聞、テレビ、ラジオなど
8. インターネット
9. その他(具体的に)
10. どこからも入手していない

問13 福祉サービスに関する情報の内容は、どの程度入手できていると思われませんか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 十分に入手できていると思う | 4. ほとんど入手できていないと思う |
| 2. ある程度は入手できていると思う | 5. わからない |
| 3. あまり入手できていないと思う | 6. 特に入手する必要がある |

問14 あなたやご家族のなかに、ほとんど外出しない(週に2回以上外出しない)方はおられますか。但し、介護認定を受けている高齢者や障がい者で、外出が困難な方を除きます。(〇は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問15 あなたやご家族は、ご近所とどの程度のつきあいですか。(〇は1つ)

1. 特に用事が無くても行ききし、困ったときには助け合える人がいる
2. 家庭の中までは入らないが、よく行ききする程度の人がある
3. 顔が合えば、立ち話をする程度の人がある
4. 顔が合えば、あいさつする程度の人しかいない
5. 隣近所にどんな人が住んでいるのかわからない
6. その他(具体的に)
7. 近所つきあいはしない

問16 あなたやご家族のなかで、地域活動に参加されている方はおられますか。(〇は1つ)

1. いる

2. いない



問16-1 どんな地域活動ですか。(〇はいくつでも)

1. 地域の祭りやイベント

6. 子ども会活動、PTA活動、青少年育成活動

2. 地域の防災訓練・防災活動など

7. 老人クラブ活動

3. 地域の清掃活動

8. 校区・地区福祉委員会活動

4. 地域の防犯・交通安全活動

9. 趣味やスポーツクラブなどの活動

5. 町会・自治会活動

10. その他(具体的に)

問17 あなたやご家族のなかで、ボランティア活動に参加されている方はおられますか。

(〇は1つ)

1. いる

2. いない



問17-1 どんなボランティア活動ですか。(〇はいくつでも)

1. 高齢者支援に関する活動

8. 防犯・交通安全に関する活動

2. 障がい者支援に関する活動

9. 防災・災害支援に関する活動

3. 子育て支援に関する活動

10. 環境の保護に関する活動

4. PTA活動

11. 生涯学習の指導・援助等に関する活動

5. 健康づくり・医療に関する活動

12. 各種スポーツ指導等に関する活動

6. 地域の清掃・美化に関する活動

13. 青少年育成・支援に関する活動

7. まちの活性化に関する活動

14. その他(具体的に)

問18 「今後やってみたい」、「やれそうだ」と思うボランティア活動はどれですか。

(〇はいくつでも)

1. 家事の手伝い(掃除、洗濯、食事の支度等)

8. 安否確認等の声かけ訪問

2. 日曜大工、庭の手入れなど簡単な力仕事

9. 話し相手、心配事の相談相手

3. 電球交換など家の中の軽作業

10. 子ども食堂の取り組み

4. 外出時の付き添い

11. 高齢者の居場所づくり

5. 買い物やペットの散歩

12. その他

6. 短時間での子どもの預かり

(具体的に)

7. 登下校時の子どもの見守り

3 「増進型地域福祉」の地域づくりについて

本市では、「増進型地域福祉」※をテーマにした地域づくりを進めています。平成28年度より、小学校区ごとに開催する「校区交流会議」において、専門職等と協力し住民同士が地域課題や将来像について話し合うなど、「理想の地域」の実現に向けた取り組みを進めているところです。

UR金剛団地においても、「増進型地域福祉」の地域づくりを支援していきたいと考えております。

※「増進型地域福祉」とは、「福祉」本来の意味である「幸福」を地域で実現するため、地域の理想を描き、その理想の実現に向けて地域住民と専門職等が力を合わせて取り組んでいく「目的実現型」の地域福祉を言います。

問19 UR金剛団地において、「増進型地域福祉」の地域づくりについてどのように思われますか。

(〇は1つ)

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 賛成 | 4. 関心がない |
| 2. 関心があり、詳しく知りたい | 5. 知らない |
| 3. 反対 | 6. わからない |

問20 「増進型地域福祉」の地域づくりで、どのような「理想の地域」を望まれますか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 子どもが安心して生活できる地域 | 7. 暴力や虐待がない地域 |
| 2. 高齢者が安心して生活できる地域 | 8. 経済的に困らないで生活できる地域 |
| 3. 障がい者が安心して生活できる地域 | 9. 働きがいのある仕事がある地域 |
| 4. 多世代・多文化が共生・交流する地域 | 10. 住民同士の助け合いが活発な地域 |
| 5. 地域医療・福祉などが充実している地域 | 11. 住民同士の交流が活発な地域 |
| 6. 孤立死、自死（自殺）のない地域 | 12. 住民一人ひとりの笑顔が増えていく地域 |

13. その他
（具体的に

問21 行政の地域福祉サービスで、力を入れるべきと思われることは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 健康や生きがいづくりへの支援 | 6. 幼稚園・学校などにおける福祉教育 |
| 2. 在宅福祉を支えるサービスの充実 | 7. 福祉サービスに関する情報提供 |
| 3. ボランティアやNPOなどの市民活動への支援 | 8. 気軽に集まれる場の充実 |
| 4. 住民の助け合い活動への支援 | 9. その他 |
| 5. 身近な所で気軽に相談できる窓口・人の充実 | (具体的に) |

ご協力ありがとうございました。

令和元年度 UR金剛団地世帯アンケート調査結果
報告書令和2年(2020年)6月

編集・発行

〒584-8511 富田林市常盤町1番1号

TEL 0721(25)1000(内線 181)

FAX 0721(25)9037

mail:info@city.tondabayashi.lg.jp